



E-mail : koho@ad.u-fukui.ac.jp  
URL : http://www.u-fukui.ac.jp



福井大学広報センター  
〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号  
TEL.0776-27-9733 FAX.0776-27-8518

文京キャンパス(教育地域科学部・工学部)  
〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号  
TEL.0776-23-0500

松岡キャンパス(医学部・附属病院)  
〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地  
TEL.0776-61-3111



# UNIVERSITY OF FUKUI

## 大学案内 2009

教育地域科学部／医学部／工学部

【松岡キャンパス（医学部・附属病院）】



「夢の力を、信じよう。」

大学時代の4年間は、自分だけの夢を描くかけがえのない時間。

伸びやかな環境の中で、可能性を見つけ、個性を伸ばし、

夢を力強く実現するエネルギーをじっくりと育んでいく。

力強い夢こそ、新しい未来を築く原動力なのです。

ようこそ、福井大学へ。もう、未来は はじまろうとしています。



【文京キャンパス（教育地域科学部・工学部）】

ここがイチ押し！

## 教育地域科学部

### 地域社会と協働したカリキュラム

現在の家庭・学校・地域社会が抱える問題に大学が主体的に取り組むことで地域に貢献しています。学校教育課程では、教師の力量形成を促すために、「探求ネットワーク」、「ライフパートナー」などのプロジェクトを行い、「地域と協働する実践的教員養成プロジェクト」(平成15年度特色GP)にも採択され、先進的な事例として学校関係者からも高く評価されています。地域科学課程では、1年次からのワークショップ形式の授業等により、企業、行政等のスタッフやそのリーダーとして地域社会の諸課題の解決に積極的に取り組む能力を身につけることができます。



● 特色GP=特色ある大学教育支援プログラム  
文部科学省は平成15年度から、各大学が取り組む教育活動の取り組みの中から、特色ある優れたものを選定し、重点的な財政支援などにより、高等教育の更なる活性化を目的とする大学教育改革の推進のための支援プログラム(GP=Good Practice)を展開しています。

特色ある大学教育支援プログラムは、大学教育の改善に資する種々の取り組みのうち、特色ある優れたものを選定し、選定された事例を広く社会に情報提供するとともに、財政支援を行うことにより、国公私立大学を通じ、教育改善の取り組みについて、各大学及び教員のインセンティブになるとともに、他大学の取り組みの参考になり、高等教育の活性化が促進されることを目的とするものです。



<地域科学課程>

## 地域課題ワークショップ科目とは？

「地域課題ワークショップ科目」の流れ



企画をチームで議論中



調査企画の中間発表

### 知識と経験を共有

「ワークショップ」とは、「討議やワーク(実際に身体を動かすこと)を重ねることにより、参加者がお互いの知識と経験を共有する場」です。地域科学課程では、地域の諸課題をテーマとしたワークショップ形式の授業を1年次から4年次までの学習の各段階に有機的に組み込むことにより、学生の問題意識の醸成と課題探求・解決能力、コミュニケーション能力等の育成を行います。また、学生自身がワークショップの運営を実践的に学ぶこともできます。

<学校教育課程>

## 探求ネットワークとは？

### 講義だけでは 培えない経験的学び

5~12月の隔週土曜日、福井大学にたくさんの子どもたちがやってきます。紙すきに挑む子、野外に探検やキャンプに出る子…等々、1995年から続く「探求ネットワーク」の活動内容は、実に多様です。子どもたちは仲間と協働で自分たちの課題に取り組みます。その活動はすべて、本学の学生によって支えられています。学生たちは、活動中は子どもたちに起るさまざまな出来事や変化をつぶさに捉え、その情報を学生同士で共有します。子どもたちとの活動以外でも企画・運営・会計・危機管理・広報などさまざまな役割を果たしています。この取り組みの中で、学生たちは、長期的で協働的で総合的な探求活動を支えるのに必要となるものを経験的に学んでいきます。それは大学の授業で講義を聞いているだけでは決して培えないものです。

本学ではこの活動を教職科目の一つとし、教員免許状取得につながる単位として認めています。こうして学生は、これから教師に本当に必要なものを、子どもたちとの活動の中でリアルに学ぶとともに、その経験を手がかりに、学校教育をめぐる理論的な問題についても具体的に学んでいくのです。

### 子どもは大人に、 大人は子どもになりきる

「探求ネットワーク」では、紙すき、気球、探検など、九つのテーマについて子どもたちと探求していく活動を行っています。私が所属している「わくわくキャンプ工房ブロック」では、ネイチャークラフトをテーマに活動しています。ネイチャークラフトとは、山に落ちている木や石など自然のものを使った工作のことです。子どもたちと山に材料を拾いに行ってその場で工作をしたり、材料を持ち帰って大学で工作したりしています。凝った作品を作り見せ合ったり、数人で一緒に工作をしたりしながら楽しく活動しています。活動の発表会「なかまつり」の準備でも、展示する作品を作ったり、話し合って意見をぶつけあったりしています。子どもは大人に、大人は子どもになりきって活動を作っています。

教育地域科学部 学校教育課程  
佐々木 庸介

<学校教育課程>

## ライフパートナー事業とは？

ライフパートナー事業とは、教育相談や生徒指導にかかる実践的な教育活動です。学生たちは授業の一環として、地域の学校や家庭に出向いて不登校などの子どもとともに活動をします。一斉授業になじめない児童生徒一人ひとりへの年齢が近い学生によるサポート活動です。授業ではさまざまな課題や自主研究も求められ、サポート活動と合わせて成績が評価されます。

教育地域科学部 学校教育課程  
高森 由佳

### 言葉にできないでいる思いを理解し接していく

『ライフパートナー』として活動するのは、今年で2年目になりますが、毎回の活動から大変多くのことを学んでいます。自分に関することは活発に話すが、クラスの話題には全く触れようとしない。教室に向かう階段をわざとゆっくり上る…「つらい」「苦しい」を口にすることはなくても、そのような子どもたちの姿からは、彼らが抱えて

研究協力校・教育実習校



4年間にわたって行われる実践研究



教育委員会との連携事業



教育地域科学部 附属教育実践総合センター  
講師 遠藤 貴広

ここがイチ押し!

# 医学部



## キーワードで読み解く 【医学科】

医学科では、医学の準備教育、基礎教育、臨床教育が一連のものとして取得できる6年一貫教育を実施するとともに、コアカリキュラム、テュートリアル教育などの、自ら学び、考え、理解することを重視した教育を実施しています。また臨床実習を重視し、学外実習を多く取り入れ、クリニカルクレースも導入しています。



### テュートリアル教育

テュートリアル(tutorial)とは、「チューターによって訓練される」という意味です。チューターの指導のもとに少人数の学生が個別に学ぶという方式です。自ら課題を探求し問題を解決する能力を身につける学習方法で、欧米では標準的な医学教育法として広く用いられています。

(本学におけるテュートリアル教育)

入門テュートリアル(1年)、テュートリアル1(基礎医学)(3年)、循環器系・消化器系テュートリアル(3年)、神経系テュートリアル(4年)



### コアカリキュラム

コアカリキュラムとは、効率的な教育と質の高い医師を育成するために、従来の記憶中心・詰め込み型のカリキュラムから脱し、基本的な内容を医学生に確実に履修させることを目的に、平成13年3月「医学・歯学教育の在り方に関する調査研究協力者会議」より提示された「医学・歯学教育モデル・コア・カリキュラム:教育内容ガイドライン」(下記URL参照)です。本学でも平成15年度からこのモデル・コア・カリキュラムに準拠したカリキュラムが組まれています。

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/13/03/010331.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/13/03/010331.htm)  
(文部科学省関連ページ)

### アドバンストコース

アドバンストコースとは、学生が修得すべき基本となる教育内容はコアカリキュラム(必修科目)で履修し、アドバンストコース(選択科目)では、最新で高度な医学・医療知識を修得することを目的としています。アドバンストコースは3年次に5コース、4年次に5コースの科目を開設しています。

<http://syllabus.sao.u-fukui.ac.jp/>  
(福井大学シラバス検索システム)

### CBT・OSCE

CBTとOSCEは、臨床実習を始める前に共用試験(全国の大学間で共通で利用する評価試験)を受験し、患者さんと接する臨床実習の現場で必要不可欠な知識と技能・態度が身についているかを評価します。

CBT(Computer Based Testing 通称サービティー)とはコンピュータを活用して、医学生の知識、問題解決能力、臨床推論における到達度を評価するものです。コンピュータ画面に映し出される多肢選択型の問題について、正解と思う選択肢をクリックして解答します。CBTでは、センターサーバーに蓄積された問題から学生一人ひとりに異なる問題が受験用コンピュータに送信されます。各大学から送られた試験の結果はセンターサーバーで採点されます。

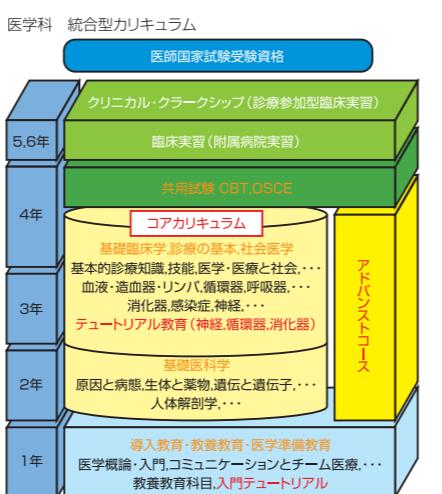
### クリニカル・クレース

クリニカル・クレース(診療参加型臨床実習)とは、従来までの見学中心の臨床実習から、指導医の指導の基に、診療チームの一員として、実際に患者の診療に携わる臨床実習の形態のことです。基礎的な知識を身につけた学生が医療現場で臨床に参加し、診断・治療に関わることで、医師として不可欠なさまざまな素養を実際に経験することで身についていくことが期待されます。ただし、解決しなければならない問題も多く、すべての診療行為が許されるわけではありません。

### 福井健康推進枠(推薦入試)

福井健康推進枠(推薦入試)は、医師の地域的偏在に伴う医師不足の解消を図るために、福井県の地域医療を担う医師の養成を目的として、福井県の創設する奨学金制度に基づいた「福井健康増進枠」を平成21年度入試から実施しています。

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/imu/syogakukinseido.html>  
(福井県関連ホームページ)



## キーワードで読み解く 【看護学科】

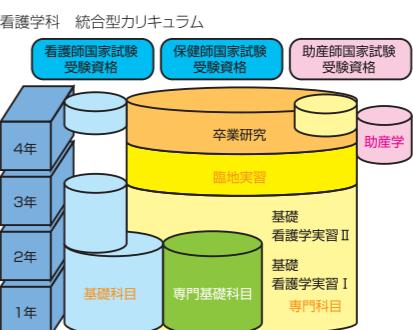
看護学科では、看護師、保健師、助産師資格取得に対応した柔軟で選択科目の多い「ゆとりある教育」のカリキュラムを実践しています。さらに、学びやすさと時代に即した看護実践能力の強化を図るため、2008年4月より新カリキュラムをスタートしました。また学部教育のみならず、社会人向け教育プログラムの実施など、本学の特徴ある取り組みをご注目ください。



看護実習風景

### 看護倫理、がん看護論、災害看護論

基礎科目で「生命倫理学」(1年次)を、専門科目で「看護倫理」(3年次)・「看護管理」(4年次)を学ぶことで、豊かな人間性、専門職としての責任、倫理的判断能力の育成を目指しています。また、「がん看護論」(がんとともに生活する患者さんとその家族を支えるための知識・援助法を学ぶ)・「災害看護論」(災害直後から支援できる看護の基礎的知識や災害各期の看護活動について学ぶ)等、社会や時代のニーズに対応しています。



### 看護学入門

大学生活をスタートさせる学習支援の科目「看護学入門」(初年次教育)では、看護学を学ぶにあたって必要な基本的知識・技法について学びます。授業内容には学習方法、レポートの書き方(文献検索)、先輩(在学生)からのメッセージ、看護学生に必要なマナー、看護部長・卒業生との交流などが含まれ、まとめとして自己の学生生活の目標と将来についてグループで発表を行います。受講後の学生からは、「大学では主体的な行動・思考が重要であることがわかった」「自分の将来像を明確にすることができた」「大学での過ごし方や医療現場で働くための心構えを学べた」「実際に働く先輩看護師から貴重な話を聞くことができた」「看護学生としての品性・思いやりが必要だと思った」などの、高い評価を得ています。



ECLNC授業



「看護学入門」プレゼンテーション

### 看護師学び直しプログラム

看護学科では、看護師として職場復帰したい、もっとキャリアアップしたいと考えている潜在・就業看護師の方を対象に「看護師学び直しプログラム」を実施しています。この教育プログラムは、最新の看護実践能力を獲得できるとともに、潜在看護師と就業看護師とが同じ教室で学びあうことにより、現在の医療現場の情報が得られるこも大きなメリットです。

<http://www1.fukui-med.ac.jp/dptkango/>  
(福井大学医学部ホームページ)





## 福井大学工学部卒業生は企業側から高い評価を受けています

福井大学工学部学生は、高度専門知識を身に付けて社会で活躍できるよう日々努力しています。大学も教育改善はもとより学習環境の整備、新しい教育プログラムの導入など、より高度な専門知識を教授できるよう不斷の努力をしています。ではその結果として、福井大学工学部卒業生を採用した企業が、どのような評価をしているかが気になるところです。そこで平成19年度に、福井大学工学部卒業生429名を採用している企業78社からアンケートにご回答いただきました。下のグラフは会社の仕事をするために必要とする能力・素養を持っているかどうかについて、福井大学工学部卒業生という絶対評価で、問1から問12の観点からお伺いした結果です。90%以上が「普通」以上の評価で、期待通りと判断していることがわかります。

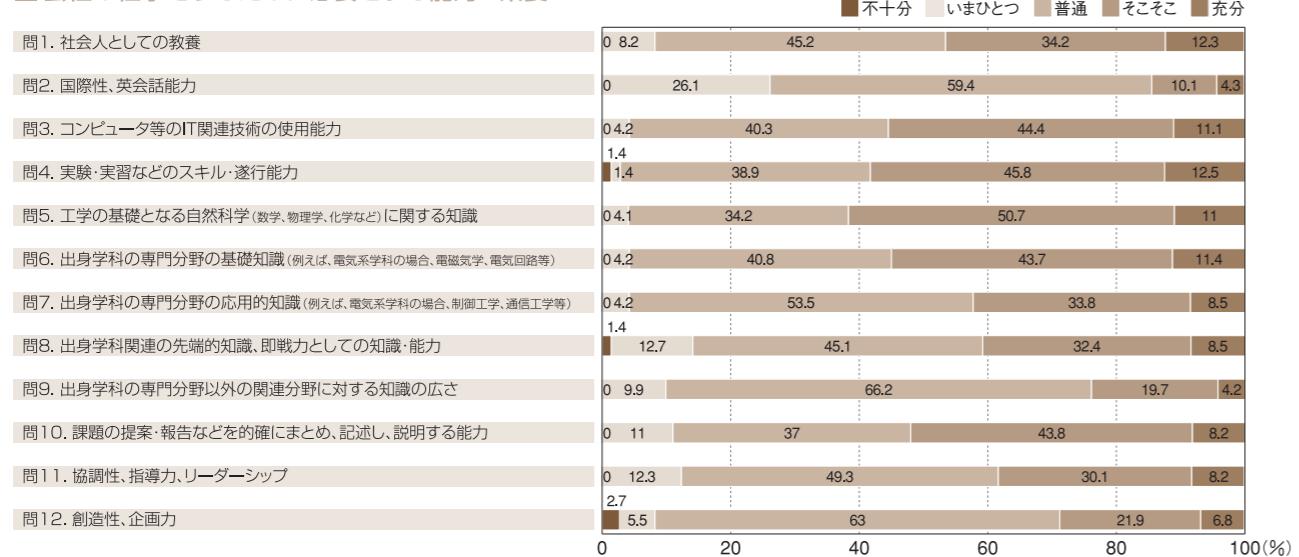
さらに半数以上は普通より高い「やや優れている」「優れている」の評価で、期待していた以上だとう評価です。「関連分野に対する知識の広さ」と「創造性、企画力」については「普通」の評価が多く、期待以上の評価（「やや優れている」「優れている」）の割合が相対的に少なくなっています。総合力が欲しいという企業側の要望であり、現在、工学部全体でその能力育成に取り組んでいます。また、「国際性、英会話能力」については「不十分」「いまひとつ」の評価が26%ほどありますが、グローバル化が進む中で仕事上必要性が高まっていると考えたらよいと思います。このように企業が何を必要としているかを理解して福井大学工学部で学べば、さらに企業から望まれる人材になれるはずです。

他大学卒業生と比べてどうかということも大いに気になるところですが、全体的には絶対評価とかわりませんでした。ただし、「実験・実習などのスキル、遂行能力」については、90%以上が他大学卒業生より「優れている」という評価であり、福井大学工学部の実践教育、少人数教育などの成果が現れています。



工学部 自己点検・評価委員会 委員長  
小林 克巳  
(工学研究科 建築建設工学専攻 教授)

### ■会社の仕事をするために必要とする能力・素養



## 福井大学工学部・工学研究科の教育力

平成17年、ここで紹介されている福井大学の共通教育が、文部科学省から特色ある優れた教育プログラムとして採択されたときのことを思い出します。その内容を、全国の大学関係者が集まって開かれる教育フォーラム（横浜）で紹介することになりました。約10倍の高い競争率の中、その年に選ばれた優れたプログラムの担当者が、会場にそれぞれブースを設け、他大学の参加者から取組についての質問・相談を受けるという企画でした。それらの中で、我々のブースは特に人気があり、昼食も取らず応対しなければなりませんでした。そのとき、一番多く、また印象に残っている質問は、取組の内容についてよりも、「なぜ、福井大学ではそ

のような取組を実施できるのか」というものでした。同じような取組を考えたとしても、彼らの大学では教員が協力してくれないだろうという嘆きでした。昨年の暮れ、ある大きな大学に集中講義に出掛けたとき、講義二日目の朝早く、その大学の教育プロジェクトを担当している先生が訪ねてきました。福井大学の工学部・工学研究科は、平成17年以来、5つの教育プログラムが優れた取組として文部科学省に採択され、特別な支援を受けていますが、その先生の学部では、「まだ一つも採択されていない、数多く採択される福井大学の秘訣は何か」という深刻な相談でした。他大学へ出かけると、同じような経験を度々します。

平成20年度に、文部科学省の大学評議委員会は、全国の国立大学の平成16年度から4年間の教育研究状況を評価しました。我々は、評価の資料となる136ページの報告書を提出しました。報告書をまとめながら、多くのデータから我々の教育力の高さを実感しました。それは秘訣などによるものではなく、世界的な研究力をもつ教員の、教育に対する一致した熱意の現われとしか説明のしようがないものです。それが長い間蓄積され、今、全国でもトップクラスの教育力を生んでいるのです。工学部・工学研究科には、ここでは紹介し切れない優れたプログラムがまだまだあります。それらは、ここで学ぶ学生も誇りにして良いものです。



工学部長・工学研究科長  
鈴木 敏男

### これまでに採択された主なプログラム

#### ■特色ある大学教育支援プログラム(特色GP)

「より高い現代的な教養教育をめざして」 平成17年度～20年度

#### ■現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)

「地域教育活動の場の持続的形成プログラム」 平成17年度～19年度

#### ■派遣型高度人材育成協同プラン

「地域産業との連携による派遣型高度人材育成」 平成18年度～22年度

#### ■大学院教育改革支援プログラム

「学生の個性に応じた総合力を育む大学院教育」 平成19年度～21年度

#### ■質の高い大学教育推進プログラム(教育GP)

「夢を形にする技術者育成プログラム」 平成20年度～22年度

# 各学部の構成



みんな最初は、  
小さな種でした。

人が可能性をのばして、成長するには、どんな力が必要なんだろう。

はじめは小さな興味でも、いろいろな人と出会い、  
時間を共有すると、驚くほどに大きな花が咲くまでになっている。

人と人が出会う場所、福井大学。  
次はどんな出会いが生まれるのか、とても楽しみです。

## CONTENTS

ここがイチ押し!	4	■キャンパスライフ	67	で、福井ってこんなところ。	80
各学部の構成	12	年間イベントスケジュール	67	アクセスマップ	83
■学部紹介		キャンパスイラストマップ	68		
教育地域科学部	14	もっと見せます!キャンパスライフ	70		
医学部	26	部・サークル全力タログ	72		
工学部	36	福大生活 How much?	74		
■大学院紹介	56	就職支援	76		
■附属施設	60	国際交流	78		
		入試制度	79		

# 教育地域科学部

FACULTY OF EDUCATION AND REGIONAL STUDIES



教育するといふことは  
自分自身を成長させること



## 学部の特色

教育科学と地域科学を学ぶ  
知見と実践が基本の学部

地域になくてはならない人を育てる学部、  
それが教育地域科学部です。

地域とは、教育、文化、政治、経済といったさまざまな要素からなる複合的なシステムということができます。また狭いエリアとしてだけでなく、国際的なエリアを意味する言葉であります。本学部は「地域」に生じるさまざまな課題を研究し、学

校教育や地域社会を支え、行動するための力を養います。

大きな特徴としては、文部科学省の優れた実践的教育に選ばれた『探求ネットワーク』と『ライフパートナー』があります。子どもたちと協働で一つのテーマを追求する『探求ネットワーク』、不登校の子どもたちに学生が対応する『ライフパート

ナー』。これら二つのプログラムをはじめとして、実践力の形成に力を入れています。21世紀に必要な教師教育、生涯学習や地域支援の拠点として、規模は小さいながら元気ある学部です。学部教育と大学院教育の双方で全国的に優れた学部として、教員養成系大学の中でも光りを放つ存在です。

### 課題のテーマ



## 資格

学校教育課程卒業で  
教員免許資格取得が可能

学校教育課程で取得可能な教員免許状一覧

コース名	小学校一種 または二種	中学校一種 または二種	高等学校一種	特別支援学校 一種または二種	幼稚園一種 または二種
言語教育	○	国語	国語、書道(△)	△	△
		英語	英語(△)		
理数教育	○	数学	数学(△)	△	△
		理科	理科(△)		
芸術・保健体育教育	○	音楽	音楽(△)	△	△
		美術	美術、工芸(△)		
		保健体育、保健	保健体育、保健(△)		
生活科学教育	○	技術	工業(△)	△	△
		家庭	家庭(△)		
社会系教育	○	社会	地理歴史(△)	△	△
			公民(△)		
教育実践科学	△	※	※(△)	△	△
臨床教育科学	△	※	※(△)	△	△
障害児教育	○	△	△	○	△

※=希望する免許の教科を選択して必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。

△=必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。なお、どのコースも、教科に対応した必要単位を修得することで、中学校、高等学校の免許を取得できます。

# 学校教育課程

新しい教師像の確立、実践的指導力の育成をテーマに

## 独自のカリキュラムで 真の教育者を養成

いま、学校教育のあり方が問いかれており、本課程が目指すものは、学校教育が抱えるさまざまな課題に、柔軟な考え方で対応できる教員の育成です。

本課程では、小学校・中学校の教員を区別なく包括的に養成しています。教科に関する「言語教育」「理数教育」「芸術・保健体育教育」「生活科学教育」「社会系教育」の5コースを設置し、さらに、子

どもたちの発達と教育に直接関わる「教育実践科学」「臨床教育科学」「障害児教育」の3コースを設置しています。学生は、専門教科の学習に加え、小中学校9年間通したカリキュラムの編成能力を習得し、「いじめ」「不登校」「科



学技術離れ」など、今日の学校が直面している問題にも取り組んでいます。社会的背景を理解し、問題解決を通して、教員に必要な資質を形成すること——本課程は、新しい時代の教育を創造する教員の養成を目指します。



## 子どもとの関わりを 重視した実践型教育

教員養成を中心としている全国約50の大学の中で、本学部は最も地域と連携した教員養成を実現しています。教員養成系学部のうち、教員養成をテーマにしたプログラムでは唯一、「特色ある大学教育支援プログラム」に採択され、優秀な教育を実践している大学、と国からのお墨付きを得ています。子どもに関わり、その実践を省みて、最新の情報をもとに新たな関わりを創造していく——このことは、いつの時代でも教師に強く求められる基本的な素養です。そこで本課程では「専門性を生

かした実践力の養成」を理念に掲げ、カリキュラムに多くの実践研究を設けることを特徴としています。

科学や学問の体系と、子どもとの関わり合い。大学教育においては、両者を切り離すのではなく、並行して学問探究することが要求されます。カリキュラムの中



で実践研究が多いのは、そのような理由によります。

では、次のページで、本課程の特徴的な実践研究である『探求ネットワーク』『ライフパートナー』について紹介しましょう。



## 地域社会と協働した カリキュラムを実施

本課程を特徴付けているのが、実践型教育プログラムである『探求ネットワーク』『ライフパートナー』です。

### ●探求ネットワーク

子どもの主体的な学習活動を支援するプログラム。地域の子どもたちのプロジェクト（人形劇など）を、学生との協動作業で練り上げていき（毎年4

月～12月の月2回）、12月の『なかもつり』に保護者や仲間を招いて発表を行うものです。参加した子どもたちの中には「大学生にならてもう一度体験したい」との感想もあります。

### ●ライフパートナー

教育相談や生徒指導に関わる実践教育です。実際に学校や家庭に出向き、不登校の子どもとともに活動します。今日の一斉授業になじめない児童生徒一人ひとりの年齢に近い、学生なら

ではのサポート活動ともいえます。『ライフパートナー』は、「学校教育相談研究Ⅰ～Ⅳ」の講義を履修した学生の実践活動として位置付けられています。授業の一環であるため、さまざまな課題や自主研究も求められ、成績評価の対象となります。

なお、本課程の教育実習は4年間継続して実施され、授業づくりの面でも実践を重視した取り組みを行っています。



## 教材開発も 本課程の大きな特徴

### ●教材開発

教材の考案・開発・提案を目的とした教育内容・教材開発研究会は、活動を始めて4年を迎えていました。研究会で

は月例のセミナーや年一度のワークショップ、講演会を開催しています。平成20年度は「いま、求められている学力とは?」をテーマにシンポジウムを開催しました。若い感性を持つ学生や大学院生の積極的な参加を得ながら、教材の完成度を高めています。

## ((なるほど!)) 教育地域科学部教員の専門分野を活かした卒業研究指導

### 学校教育課程 石川和彦講師

糸のこ盤の技能評価という研究に取り組んでいます。小学校の図画工作で使う電動糸のこ盤を使い、上手・下手の違い(技能差)を科学的に評価します。指先のセンサーで力の変化を電気的に測り、コンピュータで解析します。得られるデータは大変複雑なのですが、分析は学生と一緒に楽しく(?)知恵を絞っています。研究結果を、電動糸のこ盤の指導法(上手な使い方)へつなげるのが目標です。



### 地域科学課程 皆島博教授

私は、言語学という、文字通り、言語(=ことば)の研究をしています。今、一番関心があるのは、日本語の表現が英語(逆に、英語の表現が日本語)ではどう表現されるのか、ということです。過去にも、日本語の「敬語」が英語ではどのように表現されるのか、あるいは、日本語と英語の「ことわざ」の表現に見られる特徴の類似点と相違点は何か、などのテーマで学生の卒業研究の指導をしてきました。

# 学校教育課程

## 知識と実践力を兼ね備えた八つの専門コース

### ●言語教育コース

「国語や英語に強い小学校教師」「小学校にも精通した国語科と英語科の中学校教師」の育成を目標に、二つの教科を一つのコースとして統合し、教育を開拓しています。

関する実技、および指導力を持つ人を養成します。



ます。教育学系は教育学、教育社会学、教育方法論などを習得。心理学系は、児童心理学、学習心理学、認知心理学などを学んでいきます。



### ●理数教育コース

理科教育と数学教育のサブコースに分かれますが、二つの領域の知識と方法を共有させ、理科や数学の専門的知識に強い小学校・中学校教師の育成を目指しています。

### ●生活科学教育コース

家庭生活をめぐる諸問題やモノづくりの技術などを実践的かつ体験的に学び、生活を科学的に探求できる教員の養成を目指しています。



### ●芸術・保健体育教育コース

音楽・美術・保健体育の三つのサブコースを設定。人の心と体を使って行われる、身体活動や芸術活動に



### ●社会系教育コース

地理・歴史・公民、および社会科教育学と、多岐にわたる内容を備えたコース。社会のさまざまな問題について学び、相互に関連づけた知識の習得を基本としています。

●教育実践科学コース  
教育学と心理学の分野について学び

教育を開拓しています。

## 学校教育課程 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー 基礎教育科目	大学教育入門セミナー 第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目		
課程共通科目		教職総合演習		教職実践演習
教職科目	教育実践研究A(教育実習)	教育実践研究A-I	教育実践研究A-II	教育実践研究A-III
	教育実践研究B	学習過程研究I 学習過程研究II	学習過程研究III 学習過程研究IV	
	教育実践研究C		学校教育相談研究I 学校教育相談研究II	学校教育相談研究III 学校教育相談研究IV
	教科の指導法	教科の基礎科目	各教科の教材研究	各教科の教育法
	その他の教職科目	教育学研究 教育方法研究 教育課程研究 特別支援教育総論	教育制度・経営論 道徳の指導法 教育評価研究	発達心理学 教育情報処理

### [言語教育コース]

コース共通科目	ことばの獲得 ことばとコミュニケーション			
コース専門科目(主な科目)	楷書書法 英会話I	国文学概論 英米文学講義II 文章表現論	英語学講義III	卒業研究

### [理数教育コース]

コース共通科目	微分積分学I 基礎物理学			
コース専門科目(主な科目)	線形代数I 基礎地学	初等幾何学 基礎化学実験	解析学講究 細胞組織学実験	卒業研究

### [芸術・保健体育教育コース]

コース共通科目	身体と創作表現A 身体と創作表現B 身体と創作表現C			
コース専門科目(主な科目)	ソルフェージュI 素描基礎I 学校保健学(偶)	和声学I 美術史概論 運動生理学(奇)	独唱IV 形刻製作C スポーツ原論演習(偶)	ピアノVI デザイン制作D 体育学研究法II 卒業研究

### [生活科学教育コース]

コース共通科目	情報基礎 栄養学 衣生活論 保育学 住生活論 工学数学			
コース専門科目(主な科目)	食品学 木材加工法 金属加工法	家庭経営学 機械製図法 調理実習	被服製作実習II 技術科総合研究	保育学演習 知識情報処理 卒業研究

### [社会系教育コース]

コース共通科目	地誌概論 日本史概説			
コース専門科目(主な科目)	西洋史概説 人文地理学概説 現代思想論	法学概論 政治学概論 地理学演習	社会学概論 経済学概論 日本史演習A	地理学総合演習 卒業研究

### [教育実践科学コース]

コース共通科目		発達科学総合文献研究 心理学実験・検査実習 心理統計・調査法		
コース専門科目(主な科目)	生涯学習総論 学習心理学特講	教育学特講 発達心理学特講 健康教育の心理学	教育方法学特講	教育学演習 学習心理学演習 卒業研究

### [臨床教育科学コース]

コース共通科目		発達科学総合文献研究 心理学実験・検査実習 心理統計・調査法		
コース専門科目(主な科目)	臨床心理学	臨床発達心理学特講 教育相談特講 精神医学	臨床授業研究 学校ボランティア	臨床発達心理学演習 教育相談演習 卒業研究

### [障害児教育コース]

コース共通科目		発達科学総合文献研究 心理学実験・検査実習 心理統計・調査法		
コース専門科目(主な科目)	知的障害者の心理・生理・病理 発達障害教育総論	病弱者の心理・生理・病理 肢体不自由教育	視覚障害者の心理・生理・病理 聴覚・言語障害教育	知的障害者教育課程演習 重複障害者教育課程演習 卒業研究

- シラバス(授業内容等詳細)は、福井大学ウェブサイトをご覧ください。<http://syllabus.sao.u-fukui.ac.jp/>
- 主な科目のみ掲載
- (偶)(奇)は隔年偶数年度、奇数年度において開講されるもの

# 地域科学課程

専門知識+実践力で「魅力ある地域づくり」をリード

## 六つの“系”が大きな特徴 系をまたいだ履修も可能

快適な生活環境の形成や地域文化の創造、多様な人々の共生、産業の活性化など、これから地域社会には多くの課題が山積しています。これらを的確に分析して解決の方向を見いだし、地域の人たちと力を合わせて解決に取り組む——このような能力と知識を備えた人材を養成するのが本課程です。本課程には以下のような特色があります。

### ●地域課題ワークショップ科目

討議やワーク(=実際に身体を動かすこと)の積み重ねにより、参加者が互いの知識と経験を共有する場を「ワークショップ」といいます。



学生によるプレゼンテーション

### ●六つの“系”で課題を探究

『地域課題ワークショップ科目』の「入門」「基礎」、「スキルアップ科目」などの履修を通して得られた個々の探究課題に応じて、学生は2年次後期以降、希望に合わせて六つの“系”(専門分野)のいずれかに所属します。

### ●スキルアップ科目

1~2年次に設定。「実用英語」「調査・データ分析」「行政運営基礎」のうち、二つの選択履修を全学生に課します。いずれも卒業後にさまざまな分野で必要となる柔軟な履修指導を行います。

特定の系に属した後も多面的な学習ができるよう、他の系の専門科目が受講可能となる柔軟な履修指導を行います。



「実用英語」の授業

## 学生の関心に即して 専門科目を履修

学生は2年次後期以降、それぞれの系で開講される専門分野の授業と『地域課題ワークショップ科目』の「Ⅲ(応用)」「Ⅳ(総合)」を中心に履修していきます。

### ●地域政策領域

住民生活を中心とした地域の諸課題を調査研究。情報処理などの技法も学び学生自身で調査分析を試みます。

### ●公共政策系

法学や政治学などの専門科目と、インターンシップなど実践的なカリキュラムで構成。政策立案・遂行能力を備えた人材を養成します。

### ●環境マネジメント系

資源リサイクルや希少生物の保護といった問題を幅広くカバー。フィールドワークを多く取り入れています。

### ●人間文化領域

言語とコミュニケーションについて専門的な理解を深めると同時に、その実践的能力を養成します。

### ●生涯学習系

地域の生涯学習環境を、支援・企画・

## 地域科学課程 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	
共通教育科目	大学教育入門セミナー 基礎教育科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目			
課程共通科目	地域科学基礎科目 地域課題ワークショップ科目 スキルアップ科目	中央・地方の行政・生活保障論 地域と環境 地域における生涯学習 国際文化交流論 福井地域の歴史 言語コミュニケーション論 情報技術基礎 地域課題ワークショップⅠ(入門) 地域課題ワークショップⅡ(基礎) 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 社会調査入門 統計入門 データと情報処理 地理情報分析 地方自治法 民法Ⅰ 民法Ⅱ 民法Ⅲ 刑法 簿記論 経済理論基礎Ⅰ(マクロ経済学) 経済理論基礎Ⅱ(マクロ経済学)	地域課題ワークショップⅡ(基礎) 地域課題ワークショップⅢ(応用A) 地域課題ワークショップⅣ(応用B) ワークショップ支援 実用英語Ⅲ 実用英語Ⅳ データ分析入門	地域課題ワークショップⅢ(応用A) 地域課題ワークショップⅣ(応用B) 地域課題ワークショップⅤ(総合A) 地域課題ワークショップⅥ(総合B)	
専門教育科目	地域分析系科目群 公共政策系科目群 環境マネジメント系科目群 生涯学習系科目群	社会学概論 家族社会学 地域社会学 地域と福祉 環境社会学 地域分析演習Ⅰ 地図と地域調査 環境と行動 統計基礎 情報処理システム データベース 法学概論 行政法Ⅰ(総論) 労働法 社会保障法 会社法 政治学概論 国際政治学 政治行動論 行政学 地域経済論 会計学Ⅰ 会計学Ⅱ 経営情報処理論Ⅰ 経営管理論 マーケティング論 公共政策演習Ⅰ 生物野外実習法 多様性生物学 保全生物学実習 環境生物学演習 環境実践業務研修Ⅱ 環境マネジメント実習Ⅰ 環境マネジメント実習Ⅱ 生涯学習概論Ⅰ 生涯学習概論Ⅱ 社会教育計画Ⅰ 学びの認知科学 社会教育活動論 市民の学習と社会 生涯学習とメディア 生涯発達心理学 博物館概論 博物館資料論 音楽史概論 音楽理解の視点 美術史概論 美術理解の視点 スポーツ文化論 健康心理学 健康力センシング 公衆衛生学 英米文化論 イギリス言語文化論Ⅰ アメリカ言語文化論Ⅰ 英米言語文化論 ドイツの文芸Ⅰ ドイツの歴史と民俗Ⅰ ドイツ現代事情Ⅰ フランスの文芸Ⅰ フランス言語文化講説Ⅰ 日仏文化交流論 ヨーロッパ文化理解 ヨーロッパ文化特論Ⅰ ヨーロッパ文化特論Ⅱ 中国文化論 中国の文学 中国の歴史 日英対照言語学 ドイツの言語Ⅰ 中国の言語 中国語音声理解 中国語音声表現Ⅰ 中国語文章表現Ⅰ 中国語文章表現Ⅱ 日本語音声学 日本語文法論 英語圏の言語と文化 現代英文法論 英語ライティング 英語オーラルコミュニケーション 英語コミュニケーション総合Ⅰ 英語コミュニケーション総合Ⅱ ドイツの言語Ⅱ 中国語音声表現Ⅱ 中国語文章表現Ⅲ 応用中国語Ⅰ 応用中国語Ⅱ 中国語文法研究	社会概論 家族社会学 地域社会学 地域と福祉 環境社会学 地域分析演習Ⅰ 地図と地域調査 環境と行動 統計基礎 情報処理システム データベース 法学概論 行政法Ⅱ(行政救済法) 国際法 公共政策論 経済政策論 國際経済論 金融論 経営情報処理論Ⅱ 公共政策演習Ⅱ 公共政策演習Ⅲ 生物野外実習法 多様性生物学 保全生物学実習 環境生物学演習 環境実践業務研修Ⅱ 環境マネジメント実習Ⅰ 環境マネジメント実習Ⅱ 社会教育計画Ⅱ 社会教育演習 生涯スポーツ論 博物館情報・経営論 博物館実習 芸術創作演習(音楽) 音楽文化論演習 世界音楽概論 芸術創作演習(美術) 人間健康科学研究法 地域スポーツ論 人間健康科学研究Ⅰ 人間健康科学研究Ⅱ 健康心理学特講 臨床心理検査 健康の生理学 地域予防医学 英語圏の言語と文化 現代英文法論 英語ライティング 英語オーラルコミュニケーション 英語コミュニケーション総合Ⅰ 英語コミュニケーション総合Ⅱ ドイツの言語Ⅱ 中国語音声表現Ⅱ 中国語文章表現Ⅲ 応用中国語Ⅰ 応用中国語Ⅱ 中国語文法研究	地域生活研究 都市と村落 地域情報システム 多変量解析 共生社会論 地域分析演習Ⅱ 行政法Ⅱ(行政救済法) 国際法 公共政策論 経済政策論 國際経済論 金融論 経営情報処理論Ⅱ 公共政策演習Ⅱ 公共政策演習Ⅲ 生物野外実習法 多様性生物学 保全生物学実習 環境生物学演習 環境実践業務研修Ⅱ 環境マネジメント実習Ⅰ 環境マネジメント実習Ⅱ 社会教育計画Ⅱ 社会教育演習 生涯スポーツ論 博物館情報・経営論 博物館実習 芸術創作演習(音楽) 音楽文化論演習 世界音楽概論 芸術創作演習(美術) 人間健康科学研究法 地域スポーツ論 人間健康科学研究Ⅰ 人間健康科学研究Ⅱ 健康心理学特講 臨床心理検査 健康の生理学 地域予防医学 英語圏の言語と文化 現代英文法論 英語ライティング 英語オーラルコミュニケーション 英語コミュニケーション総合Ⅰ 英語コミュニケーション総合Ⅱ ドイツの言語Ⅱ 中国語音声表現Ⅱ 中国語文章表現Ⅲ 応用中国語Ⅰ 応用中国語Ⅱ 中国語文法研究	博物館実習 生涯スポーツとフィットネス 人間健康科学研究Ⅲ 人間健康科学研究Ⅳ
関連専門科目	西洋近代史 西洋現代史 自然地理学概説 基礎地学 現代生物学特講 日本建築史 キャンプ	基礎生物学 環境化学 都市計画 認知心理学特講 教育心理学 心理学コンピューター演習	第四紀学 絵画制作基礎Ⅰ 精神医学 心理統計・調査法	庭園学	
卒業研究				卒業研究	

●シラバス(授業内容等詳細)は、福井大学ウェブサイトをご覧ください。<http://syllabus.sao.u-fukui.ac.jp/>

# 教育地域科学部でまなぶ、ということ

教育地域科学部では、現代社会を象徴する、教育、社会、政治、経済、環境について学びます。学びの方向性を先輩や先生たちの話から聞いてみましょう。



## 芸術の素晴らしさを子どもたちに伝えたい

学校教育課程 松見智明

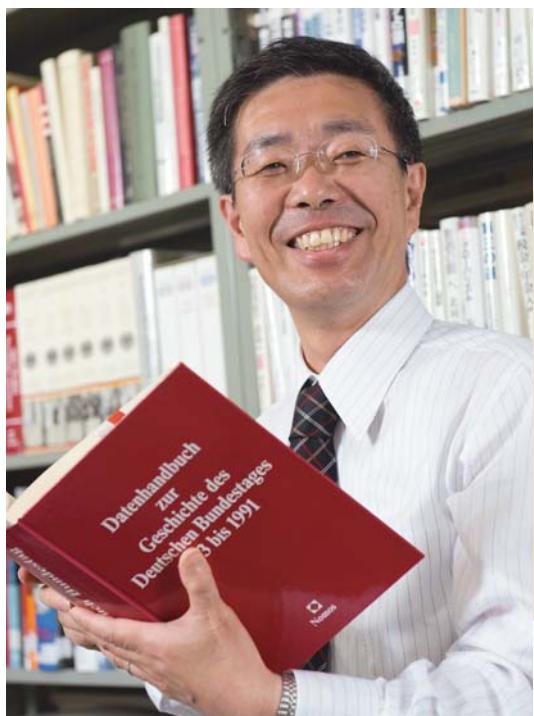
自分の思いを形にすることが好きですね。子どもの頃から木で船を作ったりしていましたが、彫刻を専攻する今も熱意は変わっていません。福井大学は彫刻や彫金を基礎から学べますし、先生方からは作家としての冷静な意見も伺えます。そう、授業は芸大さながらなんです。将来は子どもたちと一緒に芸術の楽しさを分かち合える先生になりたい。自分の作品も作り続けますよ。



## 国際交流のきっかけは言葉から

地域科学課程 高澤健太郎

多くの人とコミュニケーションを取るときに必要なのは言葉ですよね。日本語教師志望ということもあって、授業以外でも留学生と積極的に交流し、その国独自の言葉の意味や使い方の違いを学んでいます。福井大学は常に外国人と自然にふれあえる環境があるから、会話を通じてネットワークの幅もぐっと広がります。



## ドイツを知れば、日本の未来が見えてくる

地域科学課程 横井正信教授

当初は、ナチズムに関心があり19世紀末から20世紀初めのドイツの政党や政治について研究していましたが、外務省の専門調査員としてドイツの政治の現場を経験。目下、現在の政治を分析しています。戦後の高度経済成長から不況に陥るまでの日本と非常に似ていて、年金や医療保険、税政、失業率などさまざまな問題を抱えていることも同じ。その対策として企業の税負担を軽くしたり保険料を引き上げたり、構造改革を進めようとしています。このような現状を見ることで、日本の場合はどうしたらいいのかということも見えてくるんです。来年はドイツが再統一して20周年。私も集大成として統一後の軌跡をまとめていきたいと思っています。



## 音楽の魅力、いろんな形で吸収中

地域科学課程 前田千帆

今までにピアノを弾いたり合唱をする中で、音楽理論や歴史を勉強したいと思うようになりました。このコースを紹介してくれたのは友達。生涯学習という分野の中で音楽を学んでいます。授業では、基礎科目やワークショップにも取り組みながら、音楽の魅力を探りつつ、私たちに与えてくれる素晴らしいを伝えていきたいです。

## 野球から学んだことを原動力に

学校教育課程 寺木駿

野球を通して自己成長できたことが教師を目指すきっかけ。スポーツはいろいろなことを教えてくれる。それを子どもたちにも伝えたい。僕が野球から学んだんなどなときでも挑戦する気持ち、失敗からも学ぶ姿勢を糧に、実習でも子どもたちと根気よく話し合い、信頼関係を築きたいですね。



## 福井大学が教えてくれた好きなことを学ぶ楽しさ

学校教育課程 藤井美鈴

大学生活がこんなに楽しいとは思いませんでしたね。高校と違って主体性をもって学べるし、先生方との距離も近く、とても充実しています。福井大学を教えてくれた高校の先生には本当に感謝です。今後は、小学4年生から培ったパソコンの知識をもっと極めたいですね。そして、技術科の先生として女の子でも楽しんで学べる授業をしたいって思っています。



## 広がる未来に向かって何事にも挑戦!

地域科学課程 西村卓也

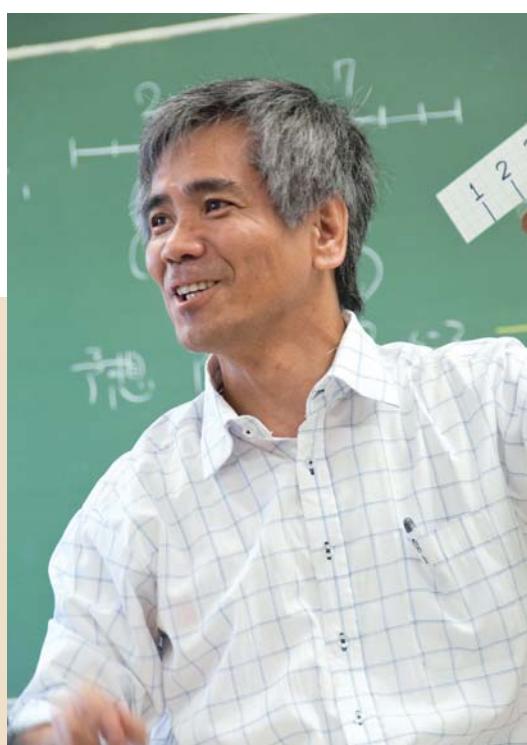
高校時代から社会や政治に興味があり、将来の夢は行政職。政治学や法学、経済学などの専門科目が楽しみです。必要なない授業かな?と思っても受けてみると意外に面白かったりするので、いろいろと挑戦したいですね。大学の1年間はあついう間。部活もサークルも勉強も積極的にやっていきます。



## 数学の楽しさは、意味を知るということ

学校教育課程 伊禮三之教授

例えば、500mlサイズのビール缶。「高さと円周、どちらが長いか」道具を使わずに解ける?みんな直感や経験で答えるけれど、理由について答える人は少ないですね。円周は直径×3.14。だから、缶を三つ並べればほぼ円周の長さですから、比べればいいわけですね。高校時代まで難しい数学を勉強しているのに、現実世界で知識を活用できない。意味の理解をおろそかにして問題を解くばかり、そして現実世界との接点もない。「数学嫌い」の原因はそこにあると思っています。私自身、かつて算数嫌いの子どもたちを指導した経験から、教育内容と教材をきちんと作れば、誰でも楽しく理解できることが知っています。楽しい実験を取り入れた数学。そこから新しい数学教育の道は開かれると思っています。



教育地域科学部  
地域社会課程→福井市役所

山口

Hiromi Yamaguchi

弘美



## 自分の夢を信じること それが、未来を開く基点です

高校時代から「行政職」に就くことが私にとっての夢でした。福井大学を選んだのも当時発足したばかりの地域社会課程 行政社会コースに魅力を感じたからです。現在は行政の効率化に関する業務や地域の活性化に関することなどに従事していますが、まだまだ夢の途中。もっと進化していきたいと思っています。

そんな私の卒論テーマは「保育所を通してみる労働と家庭生活の実態」。私自身、正規労働者として働き続けていきたいと思っていたことがテーマ選定の理由としてありました。研究の中で実際に仕事と家庭を両立されている女性にインタビューしたのですが、その経験は大変参考になりました。レポートの充実はもちろんのこと、今もつらい時などはそこで何したことなどを思い出し、乗り越えたこともありますよ。

思えば、大学選びにしても職業選択にしても、私は自分の希望がはっきりしていました。夢をまず持つこと。そこから未来が始まると思います。そして現在の目標は、家庭を大切にしながら、プロ意識をもって仕事に取り組む、魅力ある女性であること。現実は難しいかも知れませんが、日々の積み重ねを大切に努力していきたいですね。



市政の企画・調整業務を担当

福井大学時代、吹奏楽部に所属。  
担当はサックス

教育地域科学部  
学校教育課程→福井大学教育地域科学部附属小学校

# 中島和也

Kazuya Nakajima

## スポーツの魅力を 学校教育で伝えたい

大学に入るとき、教師になることはまったく頭にありませんでした。でも、教育実習で子どもたちと触れあうことで、少しずつ意識をし始めるようになり、今では小学校の先生。教師になって11年になりますが、「できた!わかった!」という瞬間と一緒に共有できることは今でも嬉しいですね。そして、たくさん話をすることで一人ひとりを深く知ることができ、より良い信頼関係を築くことができます。

私の専門は体育ですが、最近の子どもたちは小さい頃からの運動経験が少なく、ボールの投げ方を学校の体育で初めて知ることも多いのが現状。苦手意識を取り除いて、少しでも自信をつけてもらうにはどうしたらいいのか、授業の進め方にも工夫が必要です。そこで、学生時代に学んだことを応用したり、それでもうまくいかないときは先生に相談に行くこともあります。考えの幅も広がり、私が目指す授業を作るきっかけもつかめることも多いですね。とにかく、子どもたちに体を動かすのが楽しいなと感じてもらうことが一番。その先には体力面や技術の向上などいろいろあります。まずは長くスポーツに携わっていく気持ちを育てていきたいですね。



「本当に子どもはかわいい」と笑顔で語る



大学時代の仲間とは今も連絡を取り合うなどの関係



# 医学部

FACULTY OF MEDICAL SCIENCES



夢を実現させていく舞台  
医療の最前線で活躍する



## 学部の特色

知識と技術、そして心。  
この三つが医療人の基本

「人間形成を基盤に、生命尊重を第一義とする医の倫理を体得する」「高度な医学・看護学知識を修得した、信頼し得る医療人および研究者を育成する」「医学・看護学の進展、ならびに地域医療の向上に寄与する」。これら三つが本学部の教育理念であり、教育理念に基づき以下のようなカリキュラムを設定しています。

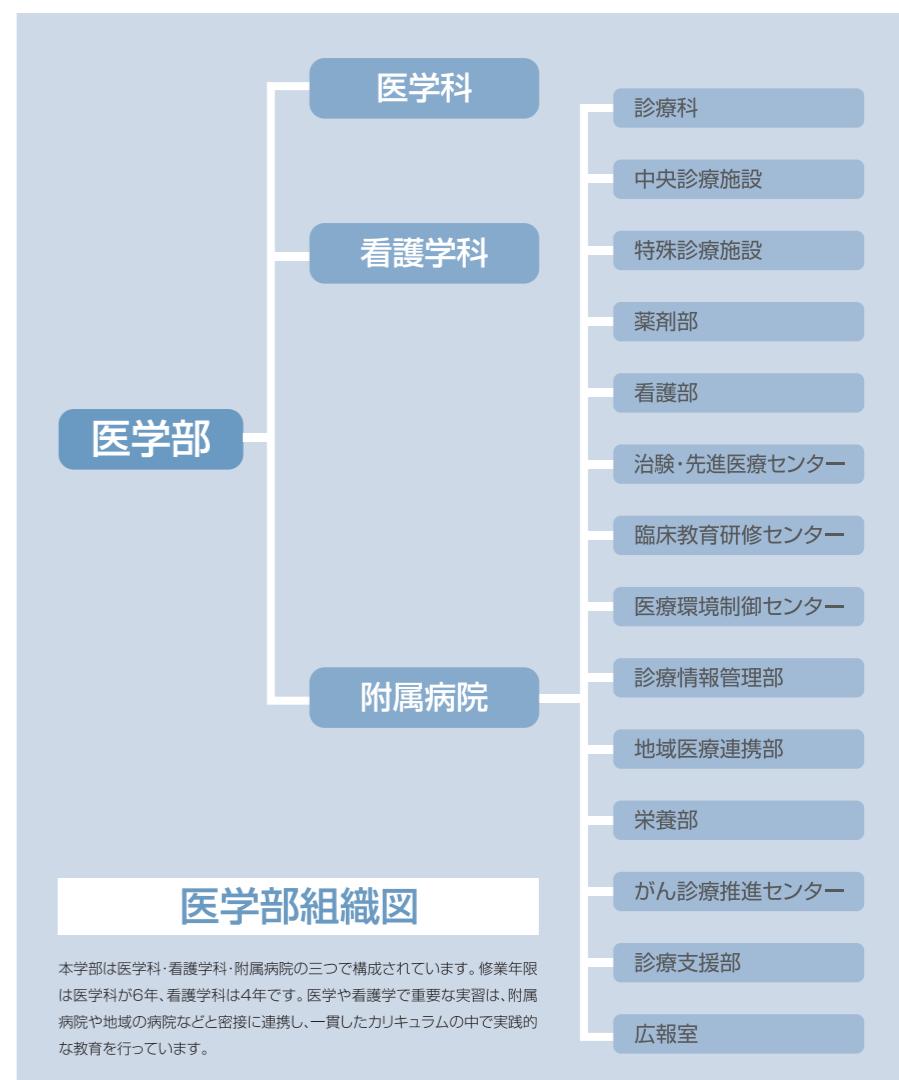
### ■医学科

医学の円滑な学修を行うため、基礎医学と臨床医学とを有機的に関連付けた「統合型カリキュラム」を導入。課題探求・問題解決能力や、生涯にわたり学ぶ習慣を育てる「テュートリアル教育」も導入するなど、教育の質の向上に常に取り組んでいます。

### ■看護学科

将来の職業選択に生かせるよう、選択科目の多い、ゆとりある教育を実施。医学部附属病院が主な実習病院であることから、最新の医療現場で充実した看護を学べるのも特長です。教員による、学生生活へのきめ細やかな指導体制も整っています。

①幅広い医学・看護学知識、高度な臨床能力、優れたコミュニケーション能力と高い倫理観を持ち ②日々進歩する医学・看護学知識・医療技術を、生涯にわたり学ぶ習慣を身に付けた ③患者中心の科学的根拠に立脚した医療が実践でき ④地域や国際社会の健康増進と疾病の予防・根絶に寄与できる  
——本学部ではこのような医療人を育成します。



## 資格 確かなバックアップ体制で 国家試験受験資格取得を支援

学科名	受験可能な資格
医学科	医師
看護学科	看護師、保健師、助産師*

\*助産師に必要な所定の単位を修得すると、国家試験の受験資格を得ることができます

# 医学科

求めるのは“いのちを尊ぶこころ”と“社会貢献への情熱”

## 精選された教育内容と確かな支援体制

医師に求められるものは、最高の医療を安心と信頼の下で提供することです。

この要望に応えるため、本学科は“医の倫理に徹した、人格高潔な、信頼し得る臨床医・医学研究者の育成”を開学以来変わることなく目的としています。

そのポリシーの基に、急速に発展する生命科学や新しい学問領域、多様化する社会ニーズにも対応する教育を実施。1年次では主に医学準備教育、2年次から3年次前期にかけては臨床前医学教育として 生命科学の基本的知識・疾患の原因・機序／人体の構造・機能、3年次後期から4年次には 人体の生理的变化・病態・診断／症状から診断する基本的診療知識・技能・態度 の授業を履修。5年次から6年次前期には、診

療チームへ参加しての臨床実習を行います。  
それぞれの領域を有機的に連携させるため 全教員参加の授業配置／病棟看護体験実習(1年次)／問題解決能力を

身に付けるテュートリアル教育／最新の医療(医学)を紹介するアドバンストコースなどを設定。精選したカリキュラムで効果的に学習できるよう工夫をしています。



シミュレーターでの実習

## すべてに優先するのは医学への熱い情熱と意志

医学科では「人の生命」を学びます。そのため、基礎的な学力以外にも、さまざま要素が求められます。いくら高い学力があっても人間性が未熟では、医療人になることはできないと考えるからです。

●豊かな人間性、周囲との協調性、

奉仕の精神をもつ人

●教育内容を理解するための幅広い

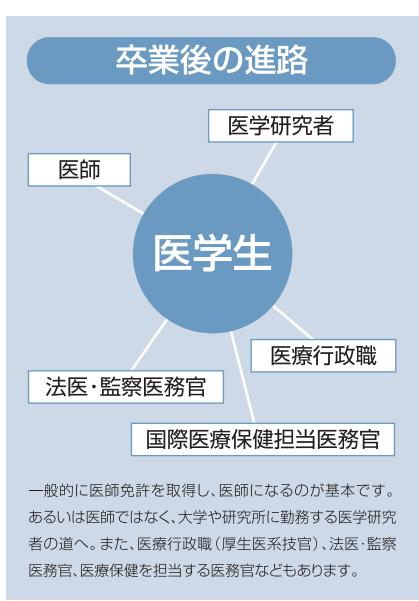
基礎学力と応用能力のある人

- 社会に貢献しようとする  
強い情熱と意欲のある人
- 生命科学に強い関心のある人
- 地域医療に貢献したいという人

本学科ではこのような人を求めています。



組織の病理実習の様子



## 医学科 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
総合教育科目等	<b>総合教育科目</b> 総合教養ゼミナール 倫理の基礎から応用へ 生命倫理学入門 心理行動科学入門 経済学 医療経済学入門 歴史学 文学 哲学の人間学 芸術学 法学 社会学 文化人類学 医療分野のドイツ語 体力作りの科学 応用数学 (医学などに関連して) 現代物理学 教養特別講義1 教養特別講義2					
基礎教育科目	<b>基礎教育科目</b> 数学基礎 医学のための物理学入門 医学のための生物学入門 運動・スポーツ科学実習 英語1 英語2 英語3 英語4 ドイツ語1 ドイツ語2 フランス語1 フランス語2 中国語1 中国語2					
専門教育科目	<b>医学準備教育</b> 医学概論 医学入門 人の行動と心理 物理現象と物質の科学 生命現象の科学 情報の科学1 情報の科学2 健康科学  <b>医学外國語</b> 医学英語1 医学英語2 医学英語3 医学英語4 医学英語5 実用医学英語  <b>医学基本事項</b> コミュニケーションとチーム医療 入門チュートリアル  <b>基礎医学</b> 細胞の基本構造と機能 組織・各臓器の構成、機能と位置関係 個体の調節機構とホメオスタシス 個体の発生 生物体質の代謝 遺伝と遺伝子 生体と微生物 免疫と生体防御 人体解剖学1 人体解剖学2  <b>基礎臨床医学1</b> 血液・造血器・リンパ系 循環器系 呼吸器系 消化器系 腎臓内科 泌尿器系 女性生殖機能・乳房 内分泌・栄養・代謝系 神経系 皮膚系 眼・視覚系 運動器(筋骨格)系 耳鼻咽喉・口腔系 精神系  <b>基礎臨床医学2</b> 感染症 免疫・アレルギー疾患 物理・化学的因子による疾患 成長と発達 加齢と老化 死と法  <b>診療の基本</b> 症候・病態からのアプローチ 基本的診療知識 基本的診療技能  <b>社会医学</b> 地域医療学  <b>臨床研修</b> 地域医療学実習  <b>その他</b> アドバンストコース1 アドバンストコース2 アドバンストコース3 アドバンストコース4 アドバンストコース5 研究室配属					

●シラバス(授業内容等詳細)は、福井大学ウェブサイトをご覧ください。<http://syllabus.sao.u-fukui.ac.jp/>

# 看護学科

## 学びやすさと時代に即した教育、カリキュラムはさらにパワーアップ

### 将来の職業選択の幅が広がる独自カリキュラム

“人間の理解を深め、多様化する社会のニーズに応える専門的な看護の提供”と“将来にわたり自己の資質向上の基礎的能力の向上を養う”。これが本学科の教育目的です。この目的を実現させるため、カリキュラムは必修科目を最小限とし、選択科目を多くしているのが特徴。学生の希望に沿った履修を可能とするとともに、将来的な幅広い職業選択（看護師・保健師・助産師）ができる仕組みを整えています。

- 人間存在に関心を持ち感性豊かな人
- 人との関わりを通して相互に成長できる人
- 基礎学力がある人
- 向上心と探究心があり、自立的に行動できる人

本学科は、このような“創造的に実践していく能力のある人”を求めます。

### 看護実践能力育成を強化 社会のニーズに鋭く対応

本学科独自のカリキュラムは、2009年4月よりさらにパワーアップ。大学生活のスタートを学習面で支援する「看護学入門」や、社会のニーズに対応した「がん看護学」「災害看護学」を導入しました。より学びやすい教育課程を編成することで、看護実践能力の向上や、倫理的判断能力の育成を図っています。

### 基礎から専門へ、 講義から実習へ順次学習

1年次から2年次にかけては基礎科目、専門基礎科目を中心に、人間理解、体の機能・構造などを履修。2年次前期からは専門科目が始まり、看護の専門知識や技術を学びます。3年次後期から4年次前期には、本学部附属病院や学外医療施設等での臨地実習を通じて実践能力を習得。4年次で自分の研究テーマを探求し卒業論文にまとめます。

### 学生生活を支える 丁寧な指導体制を整備

学生生活では、学業面や生活上での指導を学年主任の教員がきめ細かく対応。個別相談も行うなど、実践能力の高い医療人を育成する体制を整えています。



[上] 手術後の観察演習 [中] 地域診断発表会  
[下] 助産師課程での実習



### 看護学科 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎科目	人間理解 哲学Ⅰ 生命倫理学 文学 芸術学 法學 文化人類学 社会学 心理学 教養特別講義Ⅰ 教養特別講義Ⅱ	教育学		哲学Ⅱ
	情報処理 情報科学	統計学		
	語 英語Ⅰ 英語Ⅱ ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	英語Ⅲ 英語Ⅳ	英語Ⅴ	英語Ⅵ
	体育 健康・スポーツ科学			
専門基礎科目	生命基礎科学 生命基礎科学(化学) 生命基礎科学実験(化学) 生命基礎科学(生物学) 生命基礎科学実験(生物学) 生命基礎科学(物理学) 生命基礎科学実験(物理学)			
	健康科学 健康科学論 形態機能論Ⅰ 形態機能論Ⅱ 形態機能論実習 生体反応論Ⅰ 生体反応論Ⅱ 生体反応論実習	薬理作用論 疾病論Ⅰ 疾病論Ⅱ 健康管理論 成長発達論 人間行動論	心理測定論	
	環境科学 生活科学論 環境科学論	疫学 保健統計論	保健医療福祉論Ⅰ 保健医療福祉論Ⅱ	
	基礎看護 看護学入門 看護学概論 日常生活援助論	看護過程論 看護コミュニケーション論 療養生活援助論 ヘルスマネジメント論	看護倫理 リスクマネージメント論	看護管理
専門科目	健康時の看護 地域看護学概論 地域看護活動論Ⅰ		地域看護活動論Ⅱ ケア提供システム論 育児援助論	学校保健論 産業保健論 国際保健論 助産学概論 助産論Ⅰ 助産論Ⅱ
	健康障害時の看護 成人看護学概論 老年看護学概論 急性期看護活動論 慢性期看護活動論 リハビリテーション看護活動論 老年看護活動論 母子看護学概論 精神看護学概論		災害看護論 がん看護論 ターミナル看護論 小児看護活動論 母性看護活動論 精神看護活動論 感染予防看護論 発達障害看護論 在宅看護活動論	
	臨地実習 基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅱ	地域看護学実習 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 老年看護学実習 小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習	助産学実習
	卒業研究			卒業研究

●シラバス（授業内容等詳細）は、福井大学ウェブサイトをご覧ください。<http://syllabus.sao.u-fukui.ac.jp/>

((なるほど!))

### 社会のニーズに対応した科目を紹介します。

#### 〈災害看護論〉

災害が人々の生命や生活に影響を及ぼすことを理解し、災害直後から支援できる看護の基礎的知識や災害各期の看護活動を学びます。

#### 〈がん看護論〉

がん対策基本法では、がんに対する専門的な知識や技能を有する医療従事者の育成、がん患者の療養生活の質の維持向上などが述べられています。そのことからこの科目では、がんとともに生活する人とその家族を支えるために必要な、基礎的知識と基本的な援助方法を学びます。

# 医学部でまなぶ、ということ



## まずは聞く。それが看護の基本

看護学科 長谷川美香教授

「保健師」という仕事を知っていますか。保健師は地域住民の健康を守り、向上させることが使命。地域の健康に問題があれば、解決方法を考え、政策に反映するなど、看護師とは異なる立場で人々の健康を支えます。保健師も看護師一人を相手にする仕事。患者さんや住民の声を聞き、言葉の裏に何があるかをつかみ取る。それこそが人の健康に携わる者に必要な本当の資格だと思います。福井大学は人間を学ぶにはすごく良い環境。ここでの日々は必ず役に立ちますから、たくさんの人生経験をしてほしいですね。そして、守るべき人々に心から寄り添うことのできる人になってほしいと思います。



## 憧れの世界を目指して 険しい道を乗り越える

看護学科 土居沙矢香

中学の時からアメリカの医療ドラマをずっと見ていて、「スゴイ!」「カッコイイ!」という憧れから医者の道に進みました。今は春から始まる実習に向けて、基本的な技術を勉強中。道のりはまだまだ険しいですが、患者さんに信頼される医者になれるようにこれからも頑張ります。



## 道は見つかりました あとはひたすら進むのみ

医学科 高橋亮介

入学した当初は勉強量の多さで不安でした。でも、専門分野を学んでいくにつれ、自分の夢がはっきりと見えてきたんです。目指すは、病気ではなく「人」を診る医師。今は授業が終わってからも夕方5時～朝3時まで勉強して、それでも足りないって思うくらいやる気に満ちています。



医療人としての高い技術と人間性を尊ぶ優しい心の両面を育む。それが医学部です。研究を続ける先輩や先生たちの話から、医学を学ぶ意義を考えてみてください。



## 災害看護は現場が何よりの教科書

看護学科 酒井明子教授

国内外の災害看護の教育と研究に取り組み、1995年の阪神・淡路大震災以来、災害の被災地での活動を行っています。災害という非日常の中での看護。それは人々の命をどう守るか、心の傷をどう癒すか、生活をどう支えるかという中長期の支援が必要になります。しかも、緊迫した状況下においてです。何の準備も、心の訓練もない状態ではまったく現場では向き合うことができません。そのためにも現場に足を運び、被災者に会い、地域の状況を見ること。つまり、知識だけでなく実際に何が起きているのかを知ることが大切です。現場は最高の教科書です。私の体験を学生に伝えながら、日ごろから災害に備えるために人ととのつながりの大切さや、人の命と生活を守る看護の意義を学生に伝えていきたいですね。

## 実習は「患者さんとの 心の交流」がテーマです

看護学科 西本早央里

看護師を志すまでは歌手が夢でした。そんな私の目標は、「歌って踊れる看護師」。3年からは実践的な実習が始まります。看護師さんの動きを見て、現場でしか学べない知識を増やしたい。そして、患者さんとたくさん話をしてコミュニケーションが取れるようになりたいですね。



## 期待に応える 看護師になるために

看護学科 大塚慎平

看護師だった祖母の影響を受け、看護の道が目標になりました。今は実習に必要な知識や技術を勉強中です。一つひとつの実技が未知の経験ですから、今までにない緊張感に包まれています。患者さんが求めるものに応える、心が通う看護を目指して頑張ります。



## 医学の進歩のための価値ある苦悩を

医学科 木村浩彦教授

MRIは、さまざまな病気の診断に利用されている放射線技術の一つです。私がこの研究を始めたころとは格段に進歩を遂げています。しかし、長い年月と多くの研究の結果であることはいうまでもありません。文字通り、苦悩の連続だったのです。それでも医学の進歩という目標を目指し、少しでも患者さんの役に立てると研究を続けています。これから医学を志す人には、「研究」は自分で考える・判断するという力が成し遂げるものだということを知ってほしい。そして、新しいことに挑戦し、新しいことを勉強しようという意気込みを持ってほしいですね。

# 山本 花栄

Hanae Yamamoto



## 自分が支えられたように 私も人を支えていきたい

中学生のころから医師への憧れはありました、その反面、勉強一筋で近寄りがたい冷たい印象も持っていました。それを変えたのは、自分が病気で入院したときの担当医の言葉。「治るから、大丈夫」。先生は普通に言われたのだと思いますが、病気の不安を一気に吹き飛ばすほどの力強さにあふれています。医師の持つ偉大さに触れ、私の思いは確かなものになりました。

福井大学での6年間を振り返ると、確かに勉強は大変でしたが、充実した日々でした。最後まで部活も両立できましたし、支えてくれた先生方や仲間たちの存在は私の大切な財産になりましたね。

大学生活の中で一番心に残っているのはやはり、実習です。実際の患者さんの前では、まさに真剣勝負。現実に病気で苦しむ患者さんを目の当たりにして、「学生だから」という言い訳は許されません。責任の重さを実感しました。今までない緊張感を体験し、それまでどちらかといえば受け身だった勉強も、自分から前向きに取り組むようになりました。

将来は産婦人科医を目指しています。女性として自分の力を最大限に活かせると思いますし、自分が支えてもらったように、少しでも多くの人を支えることができればと思います。



産婦人科医としてのステップを歩み始めた

在学中は水泳に熱中。  
西日本医学生総合体育大会にも出場在学中は水泳部に。  
山本さんは同じ部活の仲間同士

医学部 看護学科→福井大学医学部附属病院

# 水野 郁美

Ikumi Mizuno

## 協力して学ぶことで 得られた大切なこと

高校のときに部活で怪我をして、入院と長いリハビリを経験しました。そんな不安や焦りの中で、いつもそばで励まして支えてくれたのが看護師さんでした。そうしたことが看護師の仕事を意識するきっかけになったと思います。

福井大学を選んだのは、地元ということと、病院が併設されていることに魅力を感じて。実際の講義では、自分から進んで考えることを学びました。たとえば、グループワーク。患者さんの症状や手術などの設定に応じて自分たちで麻醉の影響などを調べて発表します。一つの目的に対してさまざまな意見を出し合い、まとめていくのは大変な作業でしたが、話し合いは何度も行いました。こうした演習をすることで知識を共有することができ、コミュニケーション能力やチームワークが身に付いたように思います。特に看護の現場では、協調が求められますから、この体験を通して、どんな場面でも連係して的に対応する大さを学びましたね。

それから、空いた時間を利用して、看護師さんの手伝いをする「病院バイト」にも積極的に取り組みました。実習以上に多くのことが体験できるチャンスなんて他にはないことですから。

今後は、助けられる側から助ける側として、技術だけではなく、患者さんを精神面でもサポートできる看護師になりたいですね。



実習とアルバイトでベッドメイクもお手のもの

在学中は水泳部に。  
山本さんは同じ部活の仲間同士



## 学部の特色

工学はさまざまな学問の中でも、私たちの暮らしに最も身近なものです。身の回りの豊かな生活・社会を支えている科学技術は、すべて工学に基づいているといつてもいいでしょう。工学とは、人類の叡智を、人類のためにカタチにする学問です。

本学部の教育目標は、夢を描き(IMAGINE)、それをカタチにする高度専門技術者(IMAGINEER)の養成です。高度専門技術者に必要なことは、最先端の専門的知識や技術を習得することだけではありません。広い教養と、常に自らを批判的に省み、自分の創造力を高めることも大切な要素となります。

そのため行われている本学部の教育は、

夢をカタチにする技術者  
IMAGINEERを目指して



全国的に高く評価されています。文部科学省から特色ある優れた大学教育として5件の教育プログラムが採択されていることや全国でもトップクラスの高い就職率は、その表れです。本学部は8学科で構成され、大学院工学研究科は、博士前期課程10専攻、博士後期課程4専攻で構成されています。工学のほとんどの分野を網羅し、日本有数の大規模な工学教育研究機関として位置づけられています。日本の将来は「科学技術において世界をリードすることにある」といわれています。海と山に囲まれた自然豊かな環境の中で、その牽引者となる人材の育成に全力を尽くしています。

## 資格

資格取得の基礎となる  
確かな知識と技術力を養成

学科名	各種資格	備考	学科名	各種資格	備考
<b>機械工学科</b>	エネルギー管理士(熱管理士、電気管理士)	受験資格の取得に実務経験要	<b>知能システム工学科</b>	ソフトウェア開発技術者	受験により取得可能
	第一種・第二種 ポイラー・タービン主任技術者			基本情報技術者	
	特級・一級・二級 ポイラー技士			国家公務員I種、II種、地方公務員上級	受験により取得可能
	第一種冷凍空調技士、第一種冷凍機械責任者			消防設備者甲種	
	一級・二級・三級 自動車整備士			一級技術士、一級技能士	受験資格の取得に実務経験要
	一級・二級 建設機械施工技士			技術士補	試験の一部免除
	自動車整備管理者			公害防止主任管理者 公害防止管理者	
	建築設備士			第一種・第二種 作業環境測定士	
	工業標準化品質管理推進責任者			労働安全・労衛衛生コンサルタント	
<b>電気・電子工学科</b>	電気主任技術者	国家試験免除	<b>学科共通</b>	第一種・第二種 衛生管理者	
	無線従事者	国家試験:予備試験免除		廃棄物処理施設技術管理者	受験資格の取得に実務経験要
	電気通信主任技術者	国家試験:電気通信システムの試験免除		建築施工管理技士 管工事施工管理技士 造園施工管理技士 電気施工管理技士 土木施工管理士	
	第一級陸上特殊無線技士、第二級海上特殊無線技士	国家試験免除		一級・二級 建築機械施工管理技士	
<b>情報・メディア工学科</b>	ソフトウェア開発技術者	受験により取得可能		FE Fundamentals Engineering	受験により取得可能
	基本情報技術者			PE Principles and Practice of Engineering	受験資格の取得に実務経験要
<b>建築建設工学科</b>	二級建築士、木造建築士	建築学コース 卒業と同時に受験資格			
		建設工学コース 所定の単位を取得することにより、卒業と同時に受験資格			
	一級建築士	建築学コース 2年の実務経験により受験資格			
		建設工学コース 所定の単位を取得することにより、2年の実務経験を経て受験資格			
<b>材料開発工学科</b>	測量士補	建設工学コース 申請により資格取得			
	測量士	建設工学コース 正味1年間の測量実務経験により資格取得			
<b>生物応用化学科</b>	危険物取扱者(甲種)	受験資格			
	生物応用化学科	危険物取扱者(甲種)			

# 機械工学科

環境と調和したモノづくりのプログラムを実践

## 未知の問題に取り組む総合的な能力を育成

ハードとソフトの両面から、環境と調和した快適な社会生活を過ごすための“モノづくり”を進める分野。それが機械工学科です。本学科では、卒業後にモノづくりに貢献し、倫理観を持って国際社会で活躍できることを教育目標に、機械技術者育成に取り組んでいます。

カリキュラムは 材料技術／設計加工技術／熱・流体システム技術／計測制御技術 といった、機械工学に含まれる幅広い基礎学力の習得からスタート。

その上で、モノづくりを通して未知の問題を解決する能力を育む「創成科目」へと進んでいきます。そして仕上げである卒業研究に専心し、問題解決能力に磨きをかけて卒業します。



[1] 創成科目「機械創造演習」の授業風景  
[2] 演習で超精密加工機を用いて製作した車いす  
[3] 車いすのCADによる製作図



[2]



[3]

## 専門能力を身に付ける三つの専門分野

本学科では、三つの講座が連携して専門分野の指導にあたっています。

### ●機能創成工学講座

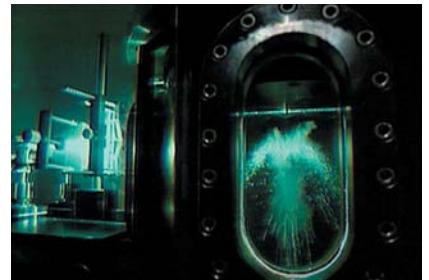


原子間力顯微鏡を使ってナノスケール ( $10^{-9}$  m)での表面解析を行っている様子

機械が設計・生産される場合に必要な材料設計・加工技術、およびそれに関する研究を行っています。

### ●熱流体システム講座

熱システム、流体システム、および環境エネルギーに関する研究を行って



新しい燃料に支えられた新方式の自動車エンジン燃焼を研究(噴霧の微細構造の研究風景)

います。

### ●システム制御工学講座

機械システムの動的挙動の解析・モデル化・同定・設計・計測・制御、メカトロニクスに関する研究を行っています。



カモ型ロボットによるアイガモ農法支援システム

# 電気・電子工学科

技術を地球的視点で捉え、創造する人づくりが目標

## 夢のある情報化社会を創造展開していく学科

近年、産業構造の高度化・複雑化はいちだんと進み、それに伴い、電気・電子工学の重要性は増す一方となりました。これを受け、大学へはその研究・教育の充実が強く求められています。

本学科が目指すのは「次世代を担う新産業創生への挑戦者の養成」。おののの分野における専門知識・応用能力の習得に加え、広範囲なニーズに柔軟に対応できる“実践的な技術者”的育成を目指しています。

科学技術が著しく発展する中で、電気・電子工学は「情報ネットワークを、ハードウェア・ソフトウェア両面から引っぱる



中核技術」に成長しました。一方で、計測・制御・管理システムの基幹技術としても進展、今や産業構造の神経系統といえる位置にもついています。

近未来の知的基盤社会は 先端的な電子・光デバイスとソフトウェアの開発



[上] 全超伝導電動機 世界で初めての全超伝導・液体窒素冷却の電動機(パワーエレクトロニクス研究室) [左] デバイス特性評価装置 窒化半導体を用いた新構造トランジスタの基本特性を測定(電子デバイス研究室)

／新しい設計思想に基づく高度なシステム化／高効率・安定・クリーンなエネルギー供給 がって初めて実現されるもの。これらの要素をふまえ、“地球的視点”に立った研究を行うことをモットーとしています。

## 社会のニーズに対応する充実した専門講座を開設

本学科では3講座を設置。次世代技術者の育成に取り組んでいます。

### ●電子物性講座

・電子材料分野——光誘起格子緩和過程と新機能物質探索

・電子デバイス分野——電子輸送・界面物性と電子デバイス応用

・量子エレクトロニクス分野——レーザ装置の開発とレーザ分光研究

・光エレクトロニクス分野——光デバイス研究とレーザ応用・環境センシング



電力系統シミュレータ 電力系統の安定性や自然エネルギー利用の分散型電源の系統連係に伴う、さまざまな課題を解析(電力システム研究室)

### ●エネルギー工学講座

・電気エネルギー分野——エネルギー変換に関する新材料・デバイスの研究

・パワーエレクトロニクス分野——電動機・リニアモータ制御と電力変換

・電力システム分野——電力系統運用の高効率化と高機能化

### ●システム工学講座

・システム工学基礎分野——回路・システム理論とシステム技法・ソフトウエア技術

・計測制御分野——情報の画像化と画像処理の研究

・情報通信システム分野——通信方式と符号化問題の研究

# 情報・メディア工学科

情報システムの発展に貢献する、高度な技術者を育成

## ハードとソフト両面から高い知識と技術を習得

情報・メディア工学は「情報工学」と「メディア工学」の二つで成り立っています。前者は、大量の情報を効率よく正確・安



計算機室での実験の様子

## 系統的、段階的に学ぶ情報通信システム

二つの講座で、ハード・ソフト双方の分野の理解を深めています。

### ●計算機・通信講座

コンピュータ通信を含む計算機ハードウエアに関わる、計算機構成・情報通信を教育・研究。トランジスタ／超微細・超高速電子デバイス／高性能コンピュータの先端的アーキテクチャ／コンピュータ通信とコンピュータネットワーク／システムLSIと設計法に関する研究・教育を行います。

### ●メディア・情報処理講座

計算機システムを効果的・効率的に活用するソフトウェアとマルチメディア情報処理を教育・研究。

コンピュータ本体やデータベース／通信システム・数学計算・グラフィック



計算機実習風景

全に伝達・蓄積・処理する技術。後者は、人間の五感に訴える形の情報を表現・交換・処理する技術。いずれも高度情報化社会の基礎となる大切な専門分野です。本学科は、この分野をハードウェア・ソフトウェア両面から捉え、新時代にマッ

チした教育・研究を実践し、情報・メディアの技術者を育成しています。かつて、計算機室を占有していた大型コンピュータ。それが、半導体技術の進歩で、この20年ほどで手のひらに載るほどに小型化・高性能化しました。同時に分散処理技術が進んで高速大容量化にも至っています。

インターネットや携帯電話の急速な普及とともに、今、社会は大きく変わろうとしています。この変化を、豊かで安心できる“高度情報化社会”に結びつける鍵は、情報工学とメディア工学の健全な発展。今や、優れた情報技術の確立は、人類の活動の維持と改善に不可欠なものとなっているのです。

処理などのアルゴリズム／ソフトウェアアーキテクチャ／ソフトウェア開発技術／マルチメディア情報処理（画像・音声などの認識、合成、情報交換など）に関する研究・教育を行います。



情報工学実験の様子

# 建築建設工学科

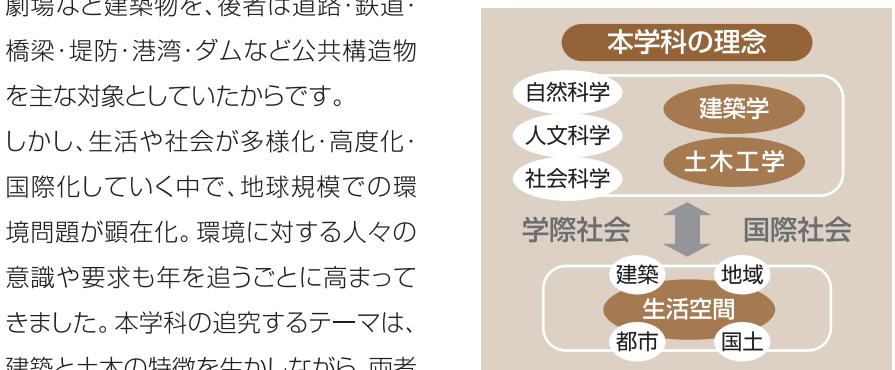
即応能力のある技術者へ、実践的な研究をベースに展開

## 自然・社会環境を柔軟に広い視野で総合的に履修

従来、建築学と土木工学はそれぞれ独自の発展を遂げてきました。なぜなら前者は、住宅・店舗・オフィスビル・学校・劇場など建築物を、後者は道路・鉄道・橋梁・堤防・港湾・ダムなど公共構造物を主な対象としていたからです。しかし、生活や社会が多様化・高度化・国際化していく中で、地球規模での環境問題が顕在化。環境に対する人々の意識や要求も年を追うごとに高まってきた。本学科の追究するテーマは、建築と土木の特徴を生かしながら、両者

を有機的に結びつけ、人文・社会科学的な知恵を含めて環境を総合的に捉えることにあります。

本学科が目指すのは、旧来の工学技術の枠を超えた「現実社会の多方面で貢献しうる、総合的で実践的な研究者・技



術者の育成」。文化的・社会的・国際的な観点から広く環境を捉えつつ、人間の生活環境を再構成するための総合技術として「建築建設工学」を見つめています。真に豊かな生活と環境共生社会の構築は、まさにそこから始まるのです。



鉄筋コンクリート梁の載荷実験

## 多彩な科目で身に付ける高度な建築学と建設工学

学生の個性に対応しながら少人数教育を実現するため、本学科では緩やかなコース制を採用しているのが特徴です。最初の1年半で総合的な問題意識と基

### 本学科の構成・特色

**建築学コース** 用・強・美  
**建設工学コース** 人間×環境  
少人数教育  
都市・地域  
都市・地球  
演習・実習  
相互交流

環境構造工学講座  
都市建設設計講座

建築学と土木工学の両専門分野の蓄積を基礎に置き、二つを融合・総合化することで、「社会環境・自然環境の中での生活空間の本質」を新しい視野で理解します。

礎学力を習得。その後の2年半は「建築学コース」「建設工学コース」に分かれ、それぞれの目標に応じ、より専門的な授業を行います。

### ●建築学コース

生活空間構築に関わる建築学と関連分野（構造工学、水理学、地盤工学、土木計画学、材料学、環境工学）の専門知識を備えた上で、計画・設計・施工・維持管理などに応用できる能力を身に付けます。

### ●建設工学コース

生活空間構築に関わる土木工学と関連分野（構造工学、水理学、地盤工学、土木計画学、材料学、環境工学）の専門知識を備えた上で、計画・設計・施工・維持管理などに応用できる能力を習得します。



福井城跡天守台階段照明



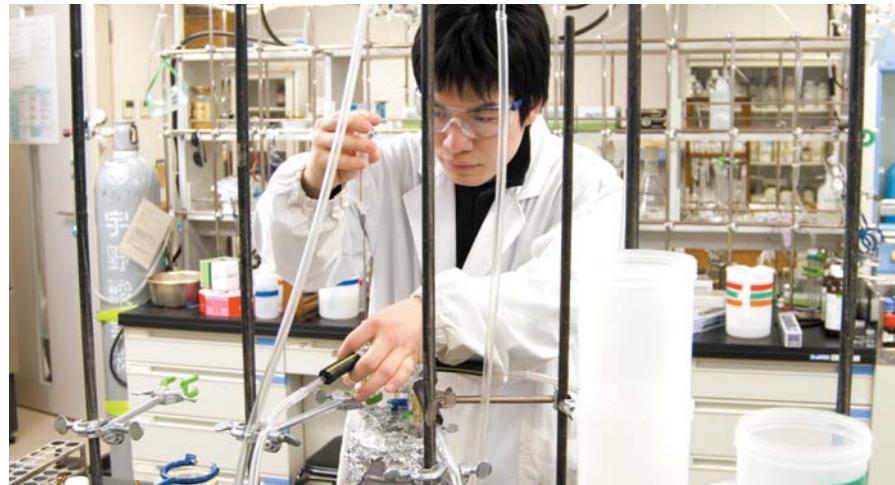
卒業設計展

# 材料開発工学科

夢あふれる新素材の開発、そして創造が教育のテーマ

## 地球環境と人間の調和が研究開発のコンセプト

「材料」が関わる革新的技術は、ナノテクノロジー／バイオ／情報通信技術／エレクトロニクス／エネルギー工学／土木・建築技術／機械工学／ロボット



## 少人数による密度の高い教育システムを実施

本学科は以下のようなコンセプトに基づき、運営しています。

### ●教育内容

「学生一人ひとりが理解する喜びを実感できる教育」がモットー。数学と物理を重視しながら、化学と工学の基礎能力が総合的に身に付くよう構成しています。重要科目では、小クラス編成で演習をふんだんに取り入れた授業も実施。創造力と実現力を育む教育にも力を入れています。

### ●研究内容

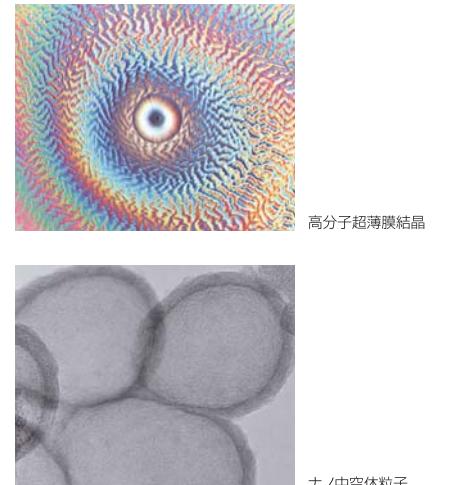
新しい機能を持つ無機・有機および高分子材料を主な対象として、それらの合成、構造と物性の制御、機能評価、そして生産プロセスの工学解析まで、材料の開発と生産に関わる諸問題を研究しています。これらの研究には、応用化学と材料工学の幅広い分野が



本学科で開発したリチウムイオン電池を用いた電車運転実験

工学などあらゆる工学分野にわたります。「材料」は、これらの新技術と人や地球環境との調和を実現するキーテクノロジーでもあります。材料開発技術は、化学を中心に物理・数学・生物など幅広い基礎学問を土台としています。しかし一方で、学問の枠

組みにとらわれない着想、エネルギー・資源の効率的な利用や、環境保護などの社会課題に対する貢献が求められています。



### 含まれています。

### ●入学者選抜

一般選抜では化学・物理・数学などの理科系科目の基本的学力を重視。新素材の開発と材料科学の理解に強い興味と熱意を持つ学生の受け入れに力を入れています。

\*79ページをご参照ください



学生実験の授業で、学生自身が考案した「どこまでも伸びるスライム」

# 生物応用化学科

人類の将来を見据えた、創造性豊かな科学技術者を養成

## 化学、生命科学、工学の広い専門分野を習得

化学は自然現象を分子レベルで解明し、その基礎の上に立って多くの新しい化合物を作り出し発展してきました。しかし、環境汚染や資源荒廃などが社会問題となる中で、環境に優しい化学品や製造プロセスが求められています。一方、DNAの二重らせん構造と自己複製機構が提唱されて以来、生命現象を分子の機能として理解する「生物化学」も急速に進展してきました。いわゆる、バイオテクノロジーの誕生です。遺伝子工学・蛋白工学・細胞工学などの新し

い技術が生まれ、物質生産・医薬・診断といった分野に使われています。他方でバイオテクノロジーは、環境保護・エネルギー生産・資源の有効利用などへの応用研究も進められています。繊維系学科として長年の歴史を持つ本学科は、時代の要請に伴い応用化学分野、ついで生物化学分野を充実。生物化学と応用化学の融合を図ることによって、新時代に向けた化学教育と研究体制を整えています。21世紀の目指す社会は、自然と共生し持続的な成長を続ける社会です。人類社会発展のための創造的な研究に取り組める——それが本学科の大きな特長です。



[上] NMR (核磁気共鳴分光装置) 超伝導磁石に入れた試料に電波を当てて原子核を検出。分子構造が測定可能な装置 [下] 微生物・動物細胞の培養は、雑菌の混入を避けるためクリーンベンチにて無菌操作します

生理活性物質の合成、生体関連分子の捕捉、環境低負荷有機合成

### ・高分子化学

高分子反応および精密重合による高機能性ポリマーの合成と応用

### ・生物物理化学

分光法による分子構造と相互作用の解析を通じた自然現象の解明

### ・応用物理化学

## 個性的な二つの講座はユニークな担任教官制

本学科では二つの講座を設置。化学と生物化学の学際的領域を開拓し、真に豊かな社会の実現を目指す人材の育成を行っています。

### ●応用化学講座

#### ・生物有機化学



LB脂質アブレーフ装置 細胞膜と類似の構造を持つ超薄膜の作製と高機能化を行っています

繊維・高分子に関わる加工技術の開発とその物理化学現象の解明

### ●生物化学工学講座

#### ・生物化学

遺伝子工学的手法を用いた分子レベルでの機能解析から応用まで

#### ・分子生物物理

生物物理学や細胞工学によるタンパク質機能解明や再生医療の研究

#### ・生物プロセス工学

さまざまな生体関連物質の工業的利用を目指した生物化学工学的な研究

#### ・生命機能工学

遺伝子レベルでのタンパク質の設計と生体分子反応システムの構築

#### ・環境分析化学

物質を分離および定量する方法の理論と応用に関する研究



四分子解析装置 顕微鏡を用いて酵母の母細胞と娘細胞を分離。遺伝情報がどのように伝わるかを解析しています

# 物理工学科

基礎科学と先端技術の架け橋

## 物理学を中心とした 基礎科学を重点的に学習

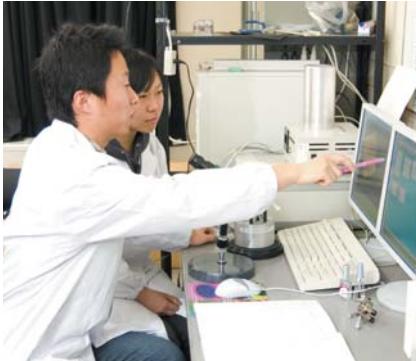
本学科は、数学・理論物理から物性実験、分子科学に至る広範囲な自然科学分野の20余名のスタッフで組織されています。研究グループは大きく三つに分かれ、物理学を中心に、工学の基礎から応用まで幅広い教育と研究を行っています。現代社会を支え、私たちにさまざまな

恩恵をもたらしてくれるテクノロジー。その多くは、20世紀前半に始まった物理学の革命に源を発しています。最先端テクノロジーを理解するには、物理の基礎をしっかり学ぶことが必要です。科学的に見て面白いことこそが、革新的な技術につながります。

数学や物理を武器に、物質のミクロな構造や極限状態に迫る——それが本学科の教育と研究の目標です。



学生の自主的な活動の場として『物理博物館』が創されました。ここでは、学年の枠を超えた学生間の交流ができます



量子力学的な効果によるトンネル電流を利用した、走査型トンネル顕微鏡(STM)を使って、並んだ原子を映像化しています

## 三つの講座に分かれた 独自の研究グループ

本学科が目指すのは、これから技術革新に応える技術者の育成です。そのコンセプトに沿って、三つの講座を設けています。

### ●物性・電磁物理講座

物質の光学的・電磁的性質や、放射線・粒子線、量子エレクトロニクスに関する実験分野の教育と研究を行っています。また、本講座は遠赤外領域開発

研究センターとも密接に連携しています。

### ●数理・量子科学講座

素粒子や原子核、宇宙線、相対論、超伝導、磁性等の理論物理学や、その基礎となる数学に関する教育・研究を行っています。

### ●分子科学講座

高分子やガラス・生体分子のような複雑な構造の物質を対象に、計算機ミュレーションや実験的手法を用いて研究を行っています。

(なるほど!)

## 物理工学科チQ&A

Q: 物理工学科ではどんなことを学べますか?

A: 物理学、数学、化学といった自然科学の基礎から、応用（製品・特許）までを学べます。講義内容は理学部物理学科に近く、工学部の他学科に比べると講義・実験とも基礎的なものが多くなります。

Q: 理学部の物理工学科と福井大学の物理工学科の違いは?

A: 本学科では理学部の物理工学科と同様、物理学の基礎科目をじっくり学びます。物理学は工学諸分野の基礎となるものであり、工学への応用を重視した教育を行っています。

Q: 研究室ではどのような卒業研究が行われていますか?

A: 物理学の理論・実験以外に、計算機シミュレーションや環境、原子力、遠赤外光に関する問題に取り組んでいる研究室もあります。



学生実験風景

# 知能システム工学科

文学や芸術のような知的で創造的な世界

## 研究者・開発者の 知的結晶

日本で最初の、知能システムを専門とする学科です。本学科の目的は、「知能システムで世界をリードする人材を育てる」こと。21世紀は共生の時代と言われ、「いかにヒトと共生できるか」を追求した新しいタイプのモノづくりが求められています。それには、マルチメディアやメカトロニクス、さらにはヒトそのものや自然についても知る必要があります。知能システムの探求・開発は、文学・芸術作品をつくるような、知的で創造的な作業です。

本学科は、このような新しい科学技術の基礎と応用を教育する先進的、前衛的な学科です。

計算機ソフトウェア、知識情報、メカトロ

ニクス、ロボット、計測、制御システム、人間情報、生体システム、ヒューマンインターフェイス、医療福祉システム、複雑系科学などの分野が統合されたカリキュラムによって、21世紀の中心たる科学技術を担う、柔軟で総合的な思考のできる人材をはぐくみます。



[2]



[1]



[3]

ロボット工房は24時間オープン  
[1] ロボットを自作し、楽しみ、遊び、学べる場所 [2] 充実したコンピュータ環境 [3] 最新のヒューマノイドロボットに触れます

### ●支援システム講座

自然言語理解・ロボット工学・ヒューマンインターフェースを通じ、人間を支援するシステムを開発します。

### ●モノづくりのできる人材を育成

豊富なコンピュータ演習とメカトロニクス実験が多様な講義と並行。知能システムは社会に役立つ実学です。

### ●問題発見能力を養成

4年次に各研究室で行う卒業研究では、独自のテーマで研究に励み実践的な研究開発能力を養います。

## 柔軟性や問題解決力を 教育・研究では重要視

本学科の教育・研究においては、以下の点を重要視しています。

### ●柔軟な思考を育む基礎教育

コンピュータサイエンス・メカトロニクス・自然科学と、バランスのとれたカリキュラムで構成。



## 機械工学科 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	
共通教育科目	大学教育入門セミナー				
基礎教育科目	第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)			
専門基礎科目	線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 数学演習Ⅰ 数学演習Ⅱ 運動力学 物理学Ⅱ 物理学実験 工業日本語Ⅰ 工業日本語Ⅱ 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	微分方程式 確率統計基礎 応用数学Ⅱ 応用数学Ⅲ 物理学Ⅲ 工業日本語Ⅲ 工業日本語Ⅳ 学際実験・実習Ⅰ	応用数学Ⅳ 統計学 学際実験・実習Ⅱ 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ	ベンチャービジネス概論	
専門教育科目	専門科目	図学及び製図基礎 機械工作実習 機械リサーチⅠ 機械技術と社会 機械材料基礎 材料力学 材料力学演習 機械加工学 機械運動学	機械製図及びCAD基礎 機械設計製図 プログラミング及び演習 機械リサーチⅡ 機械材料 構造設計工学 固体力学 環境材料学 機械要素設計Ⅱ トライボロジー 機械要素設計Ⅰ 成形加工学 基礎熱力学 加工解析 伝熱学 エネルギー変換工学 应用熱力学 流れ学 流体システム 熱流体力学演習Ⅰ 熱流体力学演習Ⅱ 基礎振動工学 システム制御演習 基礎計測制御 電気工学概論	機械工学実験 数値解析 機械創造演習Ⅰ 機械創造演習Ⅱ 機械技術者の倫理 機械英語 機械材料 構造設計工学 固体力学 環境材料学 機械要素設計Ⅱ トライボロジー 機械要素設計Ⅰ 成形加工学 基礎熱力学 加工解析 伝熱学 エネルギー変換工学 应用熱力学 流れ学 流体システム 熱流体力学演習Ⅰ 热流体力学演習Ⅱ 基礎振動工学 システム制御 基礎計測制御 電気工学概論	機械工学ゼミナール 機械技術英語特別講義
卒業論文				卒業論文	

## 情報・メディア工学科 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	
共通教育科目	大学教育入門セミナー				
基礎教育科目	第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)	第1外国語科目(英語)		
専門基礎科目		履修セミナー 線形代数Ⅰ 微分積分Ⅰ 力学と微分方程式 線形代数Ⅱ 微分積分Ⅱ 確率統計 数学演習 ものづくり基礎工学 日本の工学と技術 工業日本語Ⅰ 工業日本語Ⅱ	履修セミナー 応用数学 物理学Ⅱ 学際実験・実習Ⅰ 工業日本語Ⅲ 工業日本語Ⅳ	履修セミナー 学際実験・実習Ⅱ 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ	履修セミナー ベンチャービジネス概論
専門教育科目	専門科目	情報工学概論 離散数学Ⅰ メディア情報学実践 離散数学Ⅱ プログラミングⅠ	プログラミングⅡ 形式言語とオートマトン プログラミングⅢ 論理回路 情報理論 フーリエ解析 電気回路 情報工学実験Ⅰ データ構造とアルゴリズム 電子回路 制御工学 情報工学実験Ⅲ コンピューターアーキテクチャ 情報技術英語 計算論とアルゴリズム設計 加工解析 伝熱学 エネルギー変換工学 オペレーティングシステムⅠ 多変量解析 電子デバイス基礎	情報工学実験Ⅱ コンピュータネットワーク ソフトウェア工学 オペレーティングシステムⅡ データベース コンパイラ 信号処理 電子回路 制御工学 情報工学実験Ⅲ コンピューターアーキテクチャ オペレーティングシステムⅠ 多変量解析 電子デバイス基礎	情報コロキウムⅠ 情報コロキウムⅡ
卒業論文					卒業論文

## 電気・電子工学科 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	
共通教育科目	大学教育入門セミナー				
基礎教育科目	第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)			
専門基礎科目	線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 確率・統計Ⅰ 確率・統計Ⅱ 電磁気学Ⅰ 電磁気学Ⅱ 電磁気学演習Ⅰ 物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 計算機基礎 力学 力学演習 ベクトル解析 工業日本語Ⅰ 工業日本語Ⅱ 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 物理学Ⅲ 電磁気学Ⅰ 電磁気学Ⅱ 電磁気学演習Ⅰ 物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 計算機基礎 力学 力学演習 ベクトル解析 工業日本語Ⅰ 工業日本語Ⅲ 工業日本語Ⅳ 学際実験・演習Ⅰ	応用数学Ⅳ 学際実験・演習Ⅱ 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ	ベンチャービジネス概論	
専門教育科目	専門科目	アナログ電子回路 デジタル電子回路 線形回路入門演習 電子デバイス概論 システム情報数学	光エレクトロニクス 量子統計力学 電磁波工学 量子エレクトロニクス 半導体工学 電子デバイス 回路理論Ⅲ 制御理論基礎 パワーエレクトロニクス 制御理論 電気エネルギー発生 エネルギー変換工学 電気機器学 電気エネルギー伝送 プラズマ工学 情報理論 ソフトウェア工学 情報ネットワーク基礎 システム工学 情報通信工学 電気・電子工学実験Ⅱ 電気・電子工学実験Ⅲ	電気エネルギー応用 電気機器設計 電気法規及び施設管理 人工知能 電波・電気通信法規 技術者倫理 電気・電子工学実験演習	
卒業論文				卒業論文	

## 建築建設工学科 カリキュラム

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	
共通教育科目	大学教育入門セミナー	大学教育入門セミナー			
基礎教育科目	第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)	第1外国語科目(英語)		
専門基礎科目		線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 物理学Ⅰ 物理学Ⅲ 物理学実験 工業日本語Ⅰ 工業日本語Ⅱ 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 確率・統計 工業日本語Ⅲ 工業日本語Ⅳ 学際実験・実習Ⅰ	学際実験・実習Ⅱ 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ	ベンチャービジネス概論
専門教育科目	構造系 計画系	測量学第一及び実習 建築構造基礎第一及び演習 建築構造基礎第二及び演習 構造力学第一及び演習 広用地質学	材料学 建築建設技術者倫理 構造力学第二及び演習		
専門科目	構造系 計画系	設計演習基礎第一 建築計画論	設計演習基礎第二 日本建築史 西洋建築文化史 地球・都市環境工学 居住地計画 都市計画		
専門科目	構造系 計画系	構造力学第三及び演習 地盤工学第一 水理学第一	骨組力学 建築耐震工学 建築基礎工学 建築施工 鋼筋コンクリート構造及び演習 構造設計演習 地盤工学 地盤工学第二及び演習 建設施工法 水理学実験 水理学第二	マトリックス構造解析 連続体力学 水文学	
卒業論文	計画系	近代建築史 建築設計演習第一 造形演習第一 建築計画各論第一 建築環境工学第一 地域計画 都市計画設計演習	建築設計演習第二 建築設計演習第三 造形演習第二 建築計画各論第二 建築計画各論第三 建築意匠論 建築設備 建築環境工学第二 建築法規 計画数理 都市計画設計 建設工学設計演習 都市デザイン 交通計画	庭園学 國際開発及び援助論 測量学第二及び演習	卒業論文又は卒業計画

緑字…建築学コース 青字…建設工学コース

●シラバス(授業内容等詳細)は、福井大学ウェブサイトをご覧ください。http://syllabus.sao.u-fukui.ac.jp/

## 材料開発工学科 カリキュラム

区 分	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
共通教育科目	大学教育入門セミナー			
	基礎教育科目 第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)		
専門教育科目	線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 基礎実験 線形代数演習Ⅰ 線形代数演習Ⅱ 微分積分演習Ⅰ 微分積分演習Ⅱ ベクトル解析 物理学基礎 力学Ⅰ 力学演習 電子計算機 電子計算機演習 工業日本語Ⅰ 工業日本語Ⅱ 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 熱力学 分子科学 電磁気学Ⅰ 電磁気学演習 工業日本語Ⅲ 工業日本語Ⅳ 学際実験・実習Ⅰ	学際実験・実習Ⅱ 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ	ベンチャービジネス概論
	力学Ⅱ 力学講究 物理計測	数理解析 電磁気学Ⅱ 電磁気学講究 物理化学 統計力学Ⅰ 統計力学演習 電気電子回路Ⅰ 量子力学Ⅰ 量子力学Ⅱ 量子力学演習Ⅰ 量子力学演習Ⅱ 解析力学 物理工学実験Ⅰ	群論入門 物理数学 物理数学講究 流体力学 物性物理学Ⅰ 量子力学Ⅲ 統計力学Ⅱ 物理光学 物性物理学Ⅱ 電気電子回路Ⅱ 荷電粒子加速器工学 環境放射能 分子シミュレーション 量子化学 外書購読 工業と技術者 応用物理学概論 現代物理学概論 応用電磁波物理学 物理工学実験Ⅱ 物理工学実験Ⅲ	
卒業論文				卒業論文

区 分		1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
共通教育科目	大学教育入門セミナー	大学教育入門セミナー			
	基礎教育科目	第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)		
専門教育科目	専門基礎科目	線形代数Ⅰ 線形代数Ⅱ 微分積分Ⅰ 微分積分Ⅱ 物理学Ⅰ 物理学Ⅱ 物理学実験 化学Ⅰ 化学Ⅱ 生化学入門 基礎化学実験 生物科学 科学演習 工業日本語Ⅰ 工業日本語Ⅱ 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	物理学Ⅲ 応用数学Ⅰ 応用数学Ⅱ 工業日本語Ⅲ 工業日本語Ⅳ 学際実験・実習Ⅰ	学際実験・実習Ⅱ 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー インターンシップ	ベンチャービジネス概論
	専門科目		分析化学Ⅰ 分析化学Ⅱ 無機化学 化学熱力学 物理化学Ⅰ 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 生物化学Ⅰ 生物化学Ⅱ 生物化学Ⅲ 高分子化学Ⅰ 生物応用化学実験Ⅰ 生物応用化学実験Ⅱ 生物応用化学演習Ⅰ 生物応用化学演習Ⅱ	物理化学Ⅱ 有機化学Ⅲ 生物化学Ⅳ 高分子化学Ⅱ 化学工学Ⅰ 化学工学Ⅱ 応用微生物学 環境化学 基礎量子化学 機器分析 ナノ材料化学 機能分子化学 生物有機化学 高分子合成 生物反応工学 微生物工学 細胞工学 蛋白質機能論 遺伝子工学 社会と技術者 創成型化学演習 繊維加工学概論 テキスタイル工学 生物応用化学実験Ⅲ 生物応用化学実験Ⅳ 生物応用化学実験Ⅴ 生物応用化学実験Ⅳ 科学基礎英語演習	情報処理演習 科学技術英語演習 科学技術英語特別講義
	卒業論文				卒業論文

区分		1年次	2年次	3年次	4年次
共通教育科目	大学教育入門セミナー	大学教育入門セミナー			
基礎教育科目	第1外国語科目(英語) 第2外国語科目 保健体育科目 情報処理基礎科目	第1外国語科目(英語)			
専門基礎科目	知能システム工学基礎組 電磁気学演習 I 工業日本語 I 工業日本語 II 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	線形代数 I 線形代数 II 微分積分 I 微分積分 II 力学演習 I 力学演習 II 日本の工学と技術 ものづくり基礎工学	応用数学 I 応用基礎数学 確率・統計 電磁気学演習 II 工業日本語 III 工業日本語 IV 学際実験・実習 I	学際実験・実習 II 放射線安全工学 知的財産権の基礎知識 フロントランナー・インバーンシップ	ベンチャービジネス概論
専門教育科目	知能システム工学共通組	知能システム工学入門セミナー 生命科学入門 計測工学 回路理論 エレクトロニクス 知能科学 離散数学基礎 計算機演習 計算機システム 計算機言語 計算機言語演習 オートマトン入門	自然科学概論 神経科学 医用福祉工学 基礎メカトロニクス 制御工学基礎 制御システム応用 メカトロニクス論 製図・CAD演習 ディジタル回路 信号解析 グラフィックス演習 人工知能基礎論 データ構造とアルゴリズム演習 I データ構造とアルゴリズム演習 II 知能システム工学実験 I 知能システム工学実験 II	科学英語基礎 数値解析演習 画像処理演習 知能システム工学実験 III 知能システム工学実験 IV	卒業研究ゼミナール
専門科目	人間・複雑系 ロボティクス系 インフォマティクス系			バイオニクス入門 生物物理学 信号処理 計算神経科学 システムダイナミクス 感性工学 分散システム論	
卒業論文				人間情報学 ロボットメカニズム 現代制御理論 ロボットダイナミクス 知能ロボット設計基礎 知能制御	
				情報基礎論 応用人工知能論 自然言語処理論 認知情報科学 知能処理論 情報システム	
					卒業論文

# 工学部でまなぶ、ということ



## あるのに、ない? “質量の素”を探索中

物理工学専攻 吉田拓生教授

宇宙の中のあらゆる物質はクォーク<sup>\*</sup>などの基本粒子でできています。クォークの解明は、土や木、水といった物質が何でできているのかという素朴な疑問がスタートでした。やがて原子や原子核が発見され、クォークにたどり着いたのです。つまり、物質の本質を究明する、それが物理です。今の研究のテーマは「ヒッグス粒子探し」。物質には質量がありますが、理論的にはヒッグス粒子がなければ、物質が質量を持たないことになる。不思議でしょう? 現実に質量は存在するのに、質量の素が発見されていないなんて、10年以上取り組んでいますが、好奇心の休まる暇はありません。まだまだ究明の旅は続きますよ。

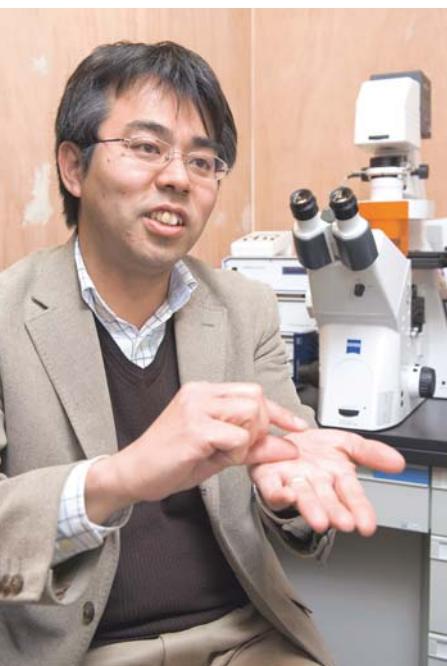
\*物質を構成する基本的な粒子の一種



## 興味のスイッチを入れて 研究を始めよう

博士前期課程  
物理工学専攻 小菅幸介

電磁波の発振装置であるジャイロトロンの開発を行っています。応用するとたんぱく質の構造を短時間で解析することも可能。電磁波を使うことで生命科学や材料開発をさらに発展させられる注目の分野なんです。「興味を持ったら積極的に行動し、自分から学ぶ」をモットーにこれからも挑戦を続けます。



## 酵母から私の未来につながる研究

博士前期課程  
生物化学専攻 野上恵美

真核生物の中で一番単純な生き物の一つである酵母を使って遺伝子に関わる研究をしています。私たちヒトも含めて、生物が生きていくための肝心な部分は同じ。だから、今やっている実験を発展させていくと、最終的に自分の体のことを知ることにもつながっていくんです。生命に関わる研究ができる工学部も面白いですよ。



## 生命の謎への挑戦は、始まったばかり

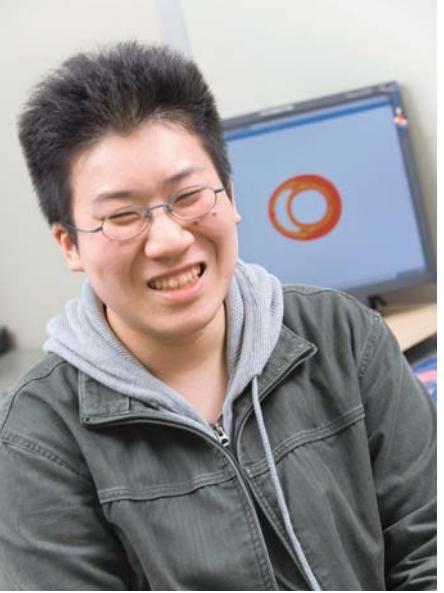
生物応用化学専攻 沖昌也准教授

親から子にその形質が受け継がれること、それが「遺伝」です。生物学的には1個の細胞が分裂を繰り返すことで最終的に成体となります。その細胞内で遺伝情報を司っているのがDNA。しかし、細胞分裂の過程でDNAは同じようにコピーされるはずが、目や鼻、臓器などの違う形に変化する「謎」があります。その原因を「クロマチンへの後天的作用」の観点から究明していくのが、「エピジェネティクス」という研究です。まだ教科書にも載らないほどの新しい分野ですが、従来の遺伝学では解明できなかった後天性疾患の原因の特定など、生命の謎を解き明かすことができればと思いますね。

\*真核細胞内に存在するDNAとタンパク質の複合体



工学のおもしろさとは、すなわち、モノづくりへの探究心にほかなりません。専門的な分野で無から有を作り出す魅力を、先輩や先生たちが熱く語ってくれました。



## 思い通りに動いたCGに 自分でもビックリ!

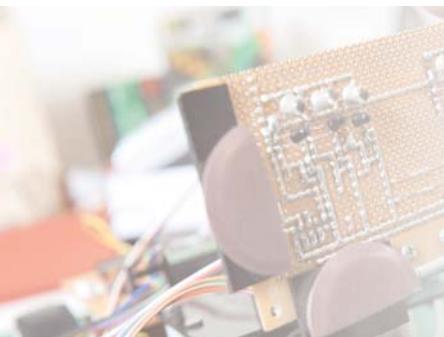
博士前期課程  
情報・メディア工学専攻 嶋田憲央

僕が取り組んでいるのはCGをプログラミングする研究。自分の思い通りにCGを動かせると達成感を感じますね。今は、研究の一環として心臓の断面図を表現することに挑戦中です。さらにこの技術を応用すれば、病気の解明だって夢じゃない。これからも、他分野にも貢献できるグローバルな活躍を目指します。

## 「つながる」ことの進化のために

情報・メディア工学専攻 藤元美俊准教授

「いつでも、どこでも、誰もがネットワークでつながる社会」、それが「ユビキタス社会」です。現在でもパソコンや携帯電話など、優れた情報端末はありますし、個別にネットワークも形成されています。しかし、すべての人間をつなぐシステムは存在しません。それがユビキタス社会では、人は何も意識することなく、あらゆる時間、場所でのネットワークを可能にします。インターネットも携帯電話もほとんど普及していなかった20年前に比べると、現代は夢のような社会になりました。では、20年後はどうか? 那は現代の研究者、これから研究を始める人に託された使命なのかも知れませんね。



## 入学動機はズバリ、 ロボットへの挑戦

知能システム工学科 平田雄大

僕の場合は「ロボット」ありきでした。福井大学を選んだのも知能システム工学科があったから。類は友を呼ぶというか、ここでは同じ志を持った仲間が多いですね。3年の時に「ライントレース」という、センサーで床のラインを検知して自動走行するマシンを作ったときも、グループの仲間と議論しながらゼロから開発。イメージ通りにロボットが動いたときは感動しました。



## 整形外科の医療に、革新を

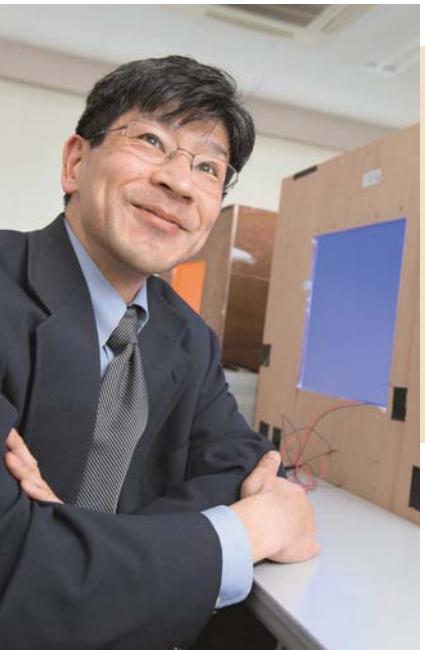
知能システム工学専攻 長宗高樹講師

従来、膝関節のカガの場合などには、徒手検査<sup>\*</sup>やMRI・CTなどの画像診断など、医師の長年の経験に基づく検査や診断が必要でした。私の研究テーマは、症状の解析や計測、制御を支援するシステム開発。5年前にプロトタイプを完成させ、現在もバージョンアップを進行中です。今では全国で4つの大学病院に採用されるなど、困難だった診断の定量化・省力化に貢献しています。思えば、私の研究は多くの基礎研究に支えられています。学生には一つひとつ研究に意義を理解して、情熱を傾けて研究に取り組んでほしいと思っています。その姿勢こそ、未来の新しい研究につながるのですから。

\*医師自身が目と手で診断を行う手法



# 工学部でまなぶ、ということ



## 健康的な光環境を創造しよう

建築建設工学専攻 明石行生准教授

私が研究する光環境工学で、現在、特に力を入れているのが、光と健康の関係。今までの研究で人間の体内時計が青い光により強く反応することがわかりました。青い光=青空からの光。体内時計は24時間よりも長い生体リズムを持ち、朝、青空の光を浴びることでそのリズムを24時間の環境のリズムに合わせることができます。これがうまくいかないと生体リズム・睡眠障害になります。これを防止・治療するために光のスペクトラル、量、タイミングを最適化して生体リズムを効率よく整える照明技術を研究中。将来的には、時間と場所に適した光を考え、安全で快適・健康な光環境を作りたいですね。



## 理想の光環境を目指して、「望む!後継者」

博士前期課程  
建築建設工学専攻 高橋さえり

私が研究する光環境工学は、建築学の中でも新しい分野です。この一年だけでも大学の研究以外に、地元の方と連携して雑木林をライトアップしたり、県庁の階段照明の提案を手がけたりとめまぐるしい日々でした。まだまだ研究の必要な分野だけに、自分たちで考え、作り上げていく経験は貴重だったなと思います。理想の光空間の研究、続々は皆さんの番です。



## 豆電球が好きで飛び込んだ電気の世界

電気・電子工学科 笹本紘平

太陽電池の材料となる「半導体の高品質な結晶」を作る方法を研究しています。実験を重ねて、成果につなげることはとても魅力的ですし、実際にこの研究で特許を申請中。学会で発表する予定です。難しそうに見えるけど、大丈夫!僕も電気に興味を持ったきっかけは豆電球。ひらめきと好奇心でここまで来たんですから。

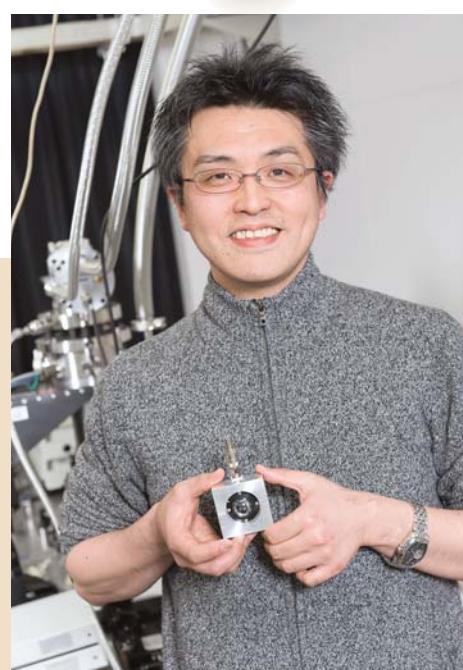


## 新しい未来を切り開くテラヘルツ波

電気・電子工学専攻 山本晃司准教授

「テラヘルツ波」とは1秒間に1兆回振動する電磁波のこと、電波と光の境界領域に位置します。この領域の検出は難しく、1990年頃に検出方式が実用化されるまでは未開拓な分野でした。私自身、元は物理化学を専攻していたのでテラヘルツ波の存在を知らず、まだ研究されていない分野ということで興味を持ちました。テラヘルツ波には電波のように物を透過し、光のように伝播するという性質があり、現在、計測や通信などにおける新たな利用技術の研究を進めています。またX線や赤外線に比べて透過の度合いが高く、次世代の分光\*技術として注目されています。

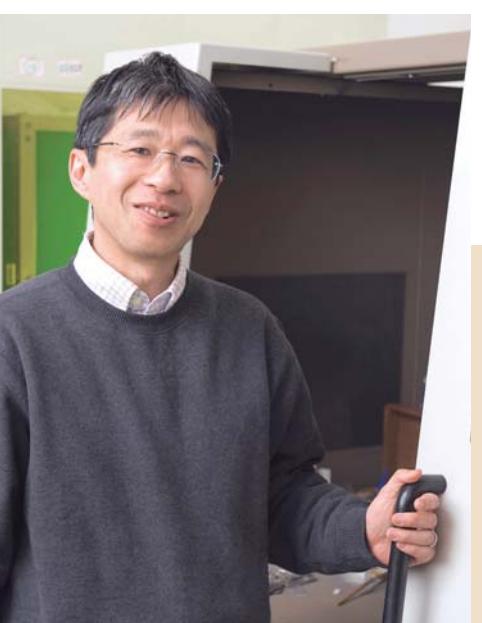
\*物質に光や電磁波を当て、その反射や吸収の特性を測定する方法



## 人の命を守るトンネル、作ります

博士前期課程  
機械工学専攻 淡路啓太

もの作りに興味があり入学した工学部。先生に誘われて始めたのが、「流れ」の研究。トンネル火災に水素燃料の自動車が巻き込まれた場合、水素がどのように放散するのか。実際の災害を想定して長さ44mの模擬トンネルでの実験からコンピュータによる解析まで、奥深く追究しています。人の命を守るトンネルが究極の目標です。



## 被害を最小限にとどめるトンネルとは?

機械工学専攻 田中太講師

火災にも多くの種類がありますが、中でも閉空間、トンネル火災が私の専門。トンネル模型を使った実験とシミュレーションに基づいて、煙や熱の流れから人命救助に関わるさまざまなケースを調べています。避難口の設置場所や散水設備の作動のタイミングが適切か、人が逃げるには安全なのか。なんとなくではなく科学的に検証して目に見える形で表せば、これからトンネルの設計に役立つことは間違いなく、すでにこの研究が生かされたトンネルは全国にあるんですよ。合理的に作ることは、火災の規模も抑えられ、効果的に人を助けることができる。社会に貢献している使命感がありますから研究にも熱が入ります。



## 新発見の瞬間に立ち会いたい

博士前期課程  
材料開発工学専攻 原田直樹

中途半端に終わらせないと、先輩から引き継いだ有機合成の研究。まだ基礎段階で医薬品に関する材料を分子レベルで探求しているのですが、かなりハマってしまって今は夢中になっています。新しい発見の瞬間に遭遇するかも知れないと思うと、もっと突き詰めたりなりますね。



## 超微小の世界に秘められた可能性を探る

材料開発工学専攻 佐々木隆准教授

現在、私の研究における興味の中心はナノカプセルを作り、その特性を調べること。「ナノ」とは長さの単位で、10億分の1メートルという非常に小さな世界。そのサイズのカプセルを高分子材料(プラスチックやゴムなど)で作っています。これが実用化されれば医療分野での応用も考えられ、例えば、ナノカプセルに薬剤を入れて投与すると、必要な時に必要な量を必要な場所(体内の各部位)にだけ届けることが可能に。副作用のある薬も最小限で最大の効果を上げることができます。しかし、そこにはまだ基礎的な研究が必要。私の興味が尽きることがないですね。

大学院工学研究科  
電気・電子工学専攻→日本電気株式会社

# 松村 龍也

Tatsuya Matsumura



## 「手を動かせ」。先生の言葉が今も自分に息づいています

大学時代の思い出で印象深いのは、研究室の先生と仲間とで登った登山旅行。普段、実験室にこもっていることが多かったですから、体は大変でしたけど、爽快な体験でした。そんな山好きの先生が繰り返し教えてくれたのは「まず手を動かせ」ということ。頭だけで考えるだけでなく、体で学ぶことの大切さを学びました。学生時代に取り組んだのはレーザーの発振器の開発設計。レーザーの周波数を安定化させる研究でした。学部でも院でも同じテーマに取り組みました。そうしたことから就職も光通信関係の通信デバイスの設計開発を希望して決めています。入社後は開発から営業、そして現在の事業計画とさまざまな仕事に携わってきました。それぞれに異なる分野であり、未知の世界ではありました。それでも、「まず、手を動かせ」という言葉が自分を後押ししてくれたように思います。

学生時代は理系の人間に囲まれていたわけですが、営業に異動したときは、横のつながりを大切にする文化を経験して、自分の可能性を広げることができました。いろんな人と交流して、自分の世界を広げることも大切だということを学生の皆さんには心のどこかに刻んでおいてほしいですね。



現在は、事業の効率化や利益に直結する予算管理を担当

研究室の先生や仲間と登った山で



大学院工学研究科  
生物応用化学専攻→三菱化学メディエンス株式会社

# 垣外梢

Kozue Kaito

## 多くの人に役立つ新薬、それが心からの夢です

今、私が取り組んでいるのは、医薬品の効果を判断する業務です。製薬企業から依頼を受け、治験薬の効果を第三者的な立場から評価しています。これまで70件程度の医薬品評価に携わっていますが、その一つひとつの薬に込められた意義に、心から仕事に対してのやりがいを感じています。

私自身、高校時代に大好きだった祖父をがんで亡くしました。その経験が医療に関わることで社会に貢献する現在の道に進むきっかけになっています。大学進学でも新薬開発に関わる仕事を目指して、いろいろと資料を探し、福井大学を選んだのです。大学では研究の方法はもちろん、実験の正確性や報告書の書き方まで本当にいろいろと学ぶことができました。そして、心構えも。「どんなデータもすべてデータ。大事な要素だ」という先生の言葉は、研究の核心だと思います。実験すべてが成功することなどありません。多くの失敗を考察していかに成功に近づけるかが大切なことです。医薬品開発には本当に長い時間がかかります。その中で私の原点というべき医学の発展に貢献したいという思いを胸に頑張っていきます。



福井大学時代は軽音楽部に所属。  
担当はベースギターとのこと



10年以上といわれる医薬品の開発。  
高い正確性とスピードが求められる





## 教育学研究科

21世紀に生きる力を培う学校教育を実現するために、専門的力量のある人材を養成

### 選択しやすい 研究科コースを用意

21世紀の知識基盤社会に生きる力(リテラシー)を培う学校教育をいかに実現していくか——こうした力を培うために学校改革と教師教育改革が求められています。それに応えるために本研究科では、学校教育専攻、教科教育専攻、そして教職開発専攻(教職大学院)の三つの専攻を設けています。そこでは、実践と研究を融合する「協働実践研究プロジェクト」などの方法を共有しながら、各専攻固有の主題が追究されます。

#### ●学校教育専攻

学校教育を根本から問い、そして支えるために、人間形成とそれを支えるコミュニティ(地域・社会・家族と学校)に関わる協働実践研究をコアとする新しい専攻です。

教育課程は、①新たな学校教育の課題にかねる教職専門の資質と能力 ②これまで障害児教育専攻で培ってきた多様なニーズに応える学習支援を行う資質と能力 ③学校とそれを支える地域コミュニティとの協働——という三つの側面から構成されています。



教職大学院 合同カンファレンス

#### ●教科教育専攻

実践的探究的な学力を実現するカリキュラムの開発研究をコアとする専攻です。21世紀の知識基盤社会に生きる力は、PISAのリテラシーに象徴されるような「実践的探究的な学力」であると考えられます。

本専攻では、専門性を基盤とした実践的なカリキュラム開発能力と確かな指導力を身につけた教員の養成を目指します。



教職大学院開講式

#### ●教職開発専攻(教職大学院)

学校改革を担う教師の専門的力量形成を主題とし、学校拠点の実践研究をコアとして教師の専門性、協働実践力・組織マネジメント能力を培います。

21世紀の社会において求められる力を実現していくためには、学習者自身が問題に立ち向かい、協働の探究活動とコミュニケーションを深めていく学習活動の積み重ねが必要となります。

こうした協働の探究活動を促し支える役割、協働探究のファシリテーター・コーディネーターとしての力をもった教員を養成します。

# 医学系研究科

医療に新たな歴史を刻む高度な研究を展開

## 時代の先をゆく 先端研究を学びます

医学・生命科学領域を対象とした博士課程と、看護学領域を対象とする修士課程から大学院医学系研究科は構成されます。

## 確かなキャリアを持つ 豊富な教授陣で構成

### ●博士課程（医学・生命科学領域）

医学科卒業者や修士課程修了者などが対象。数多くの独創的かつ国際的な先端研究を展開。転写因子の働きや脳や免疫、生殖医学に関する研究など、世界的に高い評価を受けています。特に「生命画像医学」は最も得意とする分野です。医学専攻では「自立して活躍する創造性と、優れた研究・開発能力を有する研究者」を、先端応用医学専攻では「自立して研究を遂行できる能力と、高度な専門的職能の両者

博士課程では先端的医科学、高度先端医療のリーダーを育成。高度な知識を有した国際的な研究者と、優れた医療技能を備えた人材の育成に力を入れています。世界的に評価の高い研究に携わることで新しい世界を広げていきます。

を有する臨床医学研究者」を養成しています。

### ●修士課程（看護学領域）

看護大学卒業者や、3年以上看護師・保健師・助産師として経験のある方が対象。専任教員の講義・演習と、外部の専門家による講義で最新の看護・医療を履修。研究活動では、実践的な課題に関する実験や調査などを各研究室にて実施し、ゼミや個別指導形式により修士論文を作成します。

基礎・地域看護学では多様な生活の場での看護援助を、成人・老人看護では高齢者の援助、慢性疾患やがん患者や家族の援助、災害看護を研究。

修士課程においては、高度な理論・技術を有した専門的看護ケア実践能力を備えた看護専門職と、指導的役割を担う教育・研究者を養成しています。看護学の基盤となる幅広い領域の修得と実践・研究能力の向上を目指します。

母子看護学では母子を取り巻く健康問題について実践的に研究しています。

\*大学院は有識者も修学できるよう、夜間も開講しています。

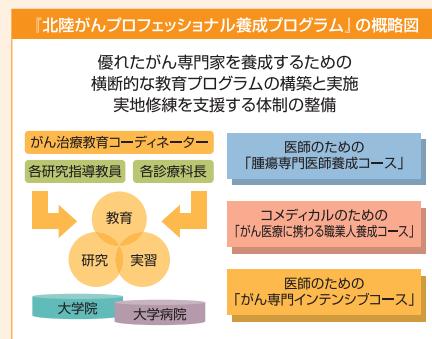


## 「北陸がんプロフェッショナル養成プラン」

高い臨床能力と研究能力を併せ持つがん専門医師、およびコメディカル養成のための融合型教育システム構築を目的としたプログラム。北陸地域の5大学\*で共同申請した「北陸がんプロフェッショナル養成プログラム—ICTによる融合型教育システム及び『がんネット』の構築—」が、文部科学省の平成19年度「がんプロフェッショナル養成プラン」に採択され、プログラムを実施しています。

プログラムでは参加全病院（4大学病院および

((なるほど!))



# 工学研究科

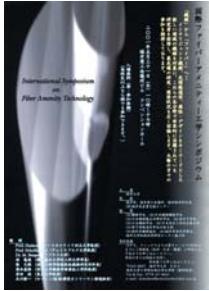
基礎から先端技術へ、高次元の教育・研究をアプローチ

博士前期課程では工学部8学科に対応した8専攻と独立専攻二つを設置しています。工学部の専門教育を支える約180人の教員。そのすべてが大学院工学研究科に所属、世界水準の研究を行っています。質の高い教育プログラム「学生の個性に応じた総合力を育む大学院教育」は、平成19年度文部科学省の「大学院教育改革支援プログラム」にも採択されました。また、平成20年に行われた国立大学に対する文部科学省の教育評価では、総合点において全国の工学研究科の中でトップに位置づけられました。

### ●原子力・エネルギー安全工学専攻 (博士前・後期 独立専攻)

地球を取り巻く環境とエネルギーの

問題は緊急な解決を必要としています。原子力エネルギーは、この問題を解決するための有望なエネルギー源として、世界中で見直しが進められています。本専攻では「安全共生」をキーワードとして、原子力と関連するさまざまな分野（高速炉開発工学、プラント安全工学、量子ビーム応用工学、地域共生工学、加速器応用工学）の教育と研究を、多くの研究機関・企業・公共団体などと協働しながら進めています。



## 地域の産業発展に関わる 専門性高い専攻も開設

### ●ファイバーアメニティ工学専攻

#### (博士前・後期 独立専攻)

「ファイバー」を基盤材料に、高度

ファイバーアメニティ工学専攻では、国際シンポジウムを毎年行っています

## 一歩先のテクノロジーを 見据えた研究を進行中

研究科では、社会の急速な進展に対応。将来の技術パラダイムを見据えた先進的な研究を進めています。

### ●機械工学専攻（博士前期）

材料設計加工技術、熱・流体システム技術、計測制御技術の教育・研究

### ●電気・電子工学専攻（博士前期）

先端材料とデバイス、電気エネルギー、情報通信システム分野の研究

### ●情報・メディア工学専攻（博士前期）

デバイス開発、情報処理システム、ネットワークなど総合的に研究

### ●建築建設工学専攻（博士前期）

生活空間の企画、設計、デザインの理論と実践

### ●材料開発工学専攻（博士前期）

無機・有機・高分子などの新材料創成技術に関する教育と研究

### ●生物応用化学専攻（博士前期）

バイオテクノロジーによる地球環境にやさしい化学工業の研究開発

### ●物理工学専攻（博士前期）

物理学の基礎から応用にいたる学際的な教育と研究

### ●知能システム専攻（博士前期）

環境や人間にやさしいロボットなど、知能的人工システムの開発

### ●物質工学専攻（博士後期）

物質の科学とその工学的利用に関する総合的な教育と研究

### ●システム設計工学専攻（博士後期）

バランスの取れたシステムの設計・構築・運用に関する教育と研究

# 附属施設

ATTACHED FACILITIES

専門性の高いあらゆる施設が  
新時代の教育と研究を支える



## 総合図書館 医学図書館

本学の図書館は、文京キャンパスの総合図書館、松岡キャンパスの医学図書館の2館からなります。総合図書館は社会や自然、工学分野が中心。医学図書館は自然分野、特に医学雑誌を多数所蔵しています。両図書館とも学生・教職員はもちろん、一般の人も利用できるようになっています。



## 総合情報基盤 センター

最新のICT技術を駆使し  
さまざまな情報を発信

ネットワーク時代を象徴する施設、文京キャンパス・松岡キャンパスの総合情報基盤センター。施設では総合情報処理システム、情報ネットワークを管理・運用。学内の教育、研究、医療、学術情報サービスをはじめさまざまな支援を行っています。また、広報誌・速報の発行や講習会・



[1]



[2]



講演会の案内など、本学に関する広報教育活動にも積極的に取り組み、たくさん的人に役立つ情報を発信しています。

## 産学官連携本部

高度な技術を創出するための  
大学と産業界とのコラボ

産学官連携を推進している施設です。産学官連携とは、産(民間企業)・学(大学)・官(公的機関)が協力して研究・開発を進め、産業の活性化を図る活動で、産業界のノウハウを研究に反映させ、より実践的な研究についています。



本施設では、以下の活動を行っています。  
・産業界向けの公報…大学の研究を企業などに積極的に公開しています

- ・知的財産管理…大学の持つ特許などの適切な管理・運用を行います
- ・研究プロジェクトの創出…民間企業や公的な試験・研究機関との開発・研究を支援します
- ・起業教育・支援…教員・学生の起業マインドの育成や研究支援を行っています
- ・試作開発事業…大学の研究をベースにした試作開発やそのマーケティングなどを通じた教育活動を行っています
- ・機器提供…大学の持つ計測・分析機器などを学内外に提供します
- ・技術相談…学内外からの技術相談に対応しています

## 高エネルギー 医学研究センター

放射線医療を支える  
先端技術を研究・推進

「放射線などの高エネルギー電磁波の医学への有効利用」をテーマに積極的に研究推進。国内唯一の装置、全国でも導入例の少ない装置を設置するなど、研究を支える設備として高精度な装置の導入を進めています。中でも注目されているのは、がんなどの診断に威力を発揮するポジトロンCT(PET)装置。生体の機能や病態を画像化し、疾患の診断と予防の基礎的・臨床的研究を実施しています。放射線のもつ可能性を追求し、世界最先端の医学に貢献する研究センターです。



全身用PET装置



小型サイクロトロン



研究をベースにした試作開発品

## 教育地域科学部

**附属幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校**

子どもたちとの触れ合いが自分をさらに成長させてくる

教育地域科学部は幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校の附属学校を持っています。小学校は県内で最初にオープンスペース教室を採用。中学校では、主題探究型の授業を全教科で展開。すべての学校が、独自のカリキュラムによって運営されています。子どもも教師も学び合うコミュニティを目指して、心身ともに健康で、自主性のある、明るく活発な学校づくりを目指しています。そうした姿勢は、学生の教育実習においても、子どもたちと創造的な活動をともにすることで、自分を成長させる場になっています。



## 教育地域科学部

**附属教育実践総合センター**

全国国立大学法人の教育大学、および教員養成系学部に設置されている教育研究施設、附属教育実践総合センター。附属学校や学部教員などを対象に、地域に根ざした成果公表の場を提供しています。

## 教育地域科学部

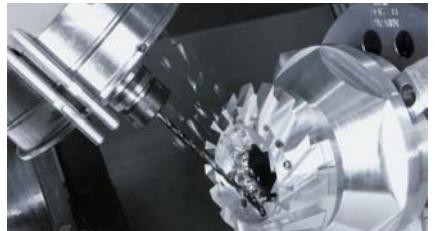
**総合自然教育センター**

総合的な自然観を育成することを目的に設置。学部学生はもちろんのこと、附属学校の生徒・児童・園児を対象に、自然観察や栽培生産学習などを通した野外教育の実践を主として行っています。

## 工学部

**先端科学技術育成センター****大学と地域社会に創造力を育む活動を**

先進国においてこれから経済を支えるのは創造力です。先端科学技術育成センター(Center for Innovative Research & Creative Leading Education, CIRCLE)の目的は、創造性を通じて人と社会を元気にすること。新しい工学教育プログラムの実践(創成教育部門)／最先端の工学技術(精密工作部門)／人々をつなぐCIRCLE形成(地域連携部門)の三本柱を通じて、創造力の育成をしっかりサポートします。



／最先端の工学技術(精密工作部門)／人々をつなぐCIRCLE形成(地域連携部門)の三本柱を通じて、創造力の育成をしっかりサポートします。

**附属国際原子力工学研究所****世界トップレベルの原子力研究開発**

福井県内の原子力関連機関や全国の大学と連携し、特色ある世界トップレベルの原子力研究開発を行っています。原子力の平和安全利用研究の推進とともに国内や海外、主にアジアの原子力人材育成を行い、研究教育活動を通じて、環境と調和した持続的なエネルギーの安定供給に貢献します。研究教育分野では、原子力工学研究開発分野を中心とし、高速炉、新型炉、燃材料、廃止措置、検査・材料評価などの研究を行います。これらは、原子力発電所立地地域であり、「もんじゅ」などの先進型原子炉を有する福井県嶺南地域でなければならないものです。さらに、原子力機構等の敦賀地区にある施設・設備を活用し、原子力学の体系的な教育などを含めた、高度な人材教育を行います。また学内外の関係機関等と協力して、医学物理・化学分野の教育研究や、防災工学の教育研究も視野に入れています。

## 教育地域科学部

**ライフサイエンスイノベーション推進機構****世界トップレベルの研究開発の推進**

本学の重点研究領域である生命科学および関連分野の活動を、世界トップレベルで維持・推進する全学的機構で、以下の3センター(生命科学複合研究教育センター、トランスレーショナルリサーチ推進センター、ライフサイエンス支援センター)で構成されています。

**生命科学複合研究教育センター****研究を基本にした人材育成**

先端的生命科学研究を高水準で推進するセンターです。生命科学を複合的な観点から捉え直し、異なる専門の教員が参加し研究を展開しています。同時に高度な専門教育を行い、生命科学の将来を担う人材の育成にも取り組んでいます。

**ライフサイエンス支援センター****時代の先端をゆく技術を高次元でバックアップ**

生命科学の研究及び教育の発展を図るために、生命科学複合研究教育センターとトランスレーショナルリサーチ推進センターを支援するセンターです。3部門で構成されており、生物資源部門では実験動物の適正な管理と教育研究を、バイオ実験機器部門では約350台の機器の集中管理とバイオ実験の支援及び教育研究、そして、放射性同位元素実験部門では放射性同位元素を用いた実験の支援と教育を行っています。



バイオ実験機器部門  
透過電子顕微鏡による細胞の超微細構造観察



放射性同位元素実験部門  
非密封放射性同位元素によるトマトレーザー実験(ヨウ素実験室(2))  
生物資源部門  
ヒト疾患モデルとなる遺伝子変異マウスの実験

**遠赤外領域開発研究センター****高出力遠赤外光源の高性能化と新しい学術研究への応用**

「遠赤外領域」は、波長が1mmより短く、電波と赤外光の中間に位置する未開拓の領域です。本センターは、遠赤外領域の総合的な開発研究拠点として、国内はもとより、米国、ロシア、中国、英国、ブルガリア、オーストラリア、ドイツ、ブラジルなど海外研究機関と協力しながら、独自に開発した高出力遠赤外光源「ジャイロトロン装置」を応用し、21世紀が必要とする画期的な研究開発分野(物質科学、生命科学、新機能材料開発、基礎物理学、エネルギー科学、新着想のテラヘルツ波発生・新方式テラヘルツ波分光法の開発、材料評価、生体分子計測やテラヘルツ波イメージングの研究)への展開を図っています。



[左] 電磁波によるセラミックス焼結装置。周波数28GHzおよび24GHz。新機能材料の開発研究で活用します [右] CW(定常発振) ジャイロトロンFU CW II。周波数400GHz、タンパク質の構造解析に用います

**地域環境研究教育センター****地域の環境をサポート**

産官学のパートナーシップで地域に密着した環境問題を調査し、地域の環境を保全・改善するための研究センターです。地域の人々を対象に、環境への取り組みを理解・支援する環境教育も重要視。定期的な講座も行っています。

## 医学部

## 附属病院 病床数:600床 診療科:25科

医学部附属病院は昭和58年10月に開院しました。病院の理念として“最高・最新の医療を安心と信頼の下で”を掲げて、福井県で唯一の特定機能病院として、地域の中核的医療と先進医療を担っています。ここでは当院の特色の一部を紹介します。

### 最先端画像装置の導入 専門ドック

先端医療画像センターでは、PET-CT装置や3T-MRI装置など最先端の医療機器を備え、腫瘍ドック・脳ドックを実施しています。

## ○PET-CT腫瘍ドック

PET検査とはPositron Emission Tomography（陽電子放出断層撮影）の略です。わずか数ミリのがんを見つける場合もあり、ほとんど副作用もなく健診者の体に負担のかからない安全な検査です。従来のCTやMRIなどの形をみる検査とは異なり、細胞の活動状態を画像でみることができ、がん・脳・心臓などの病気の診断に有用です。

PET-CT腫瘍ドックの目的は、全身のがん細胞の増殖を早期にとらえることです。データによると、がんの発見率は他の画像検査の8倍以上といわれています。腫瘍マーカーや超音波等の全体的な検査データを参考にして、専門医による治療又は予防のための適切なアドバイスをします。

PET-CTの特徴は、一度の撮影で、ほぼ全身をみることができます。また、機能画像(PET)と形態画像(CT)が一度に撮影できます。薬剤を注射して約1時間安静にした後、カメラの下で30分ほど横になるだけなので、検診者の負担軽減につながります。

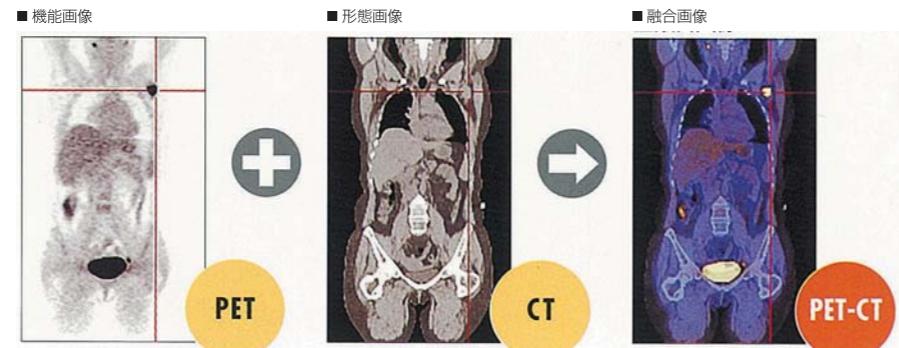


## ○3T-MR脳ドック

脳ドックの目的は、脳血管がつまる脳梗塞や脳内出血、脳動脈瘤が破裂するクモ膜下出血のような脳血管の病気や脳腫瘍、痴呆等の予防にあります。過剰なストレスによる突然死や過労死の一部は、脳血管疾患が関与していると言われていますが、専門医(脳外科医)がこれらの疾患を早期に発見して治療や予防のための適切なアドバイスをします。



3T-MRIの特徴は、鮮明画像で血管の病気の診断に優れています。MRは磁場と電波を使って、体内に豊富に存在するプロトン(水素原子核)に共鳴現象をおこさせて体内を画像化して観察する検査です。X線被ばくはありませんし、検



## 高度な医療技術

血液疾患の化学療法、小児がんの治療、未熟児診療、循環器関係手術、消化器関係手術等治療、脊椎・腰椎関係手術、前立腺がん治療、口腔外科手術などを行っています。

## 地域がん診療連携拠点病院

質の高いがん医療の提供、地域におけるがん医療の向上、県民に対するがん医療の情報提供を行っています。

## エイズ治療の中核拠点病院

厚生労働省によりエイズ診療の充実と、地域内および地域間の連携を充実させることを目的としています。

## 医療環境制御センター

医療安全管理と院内感染対策を一元化した医療安全制御センターを設立し、医師、看護師、コメディカル、事務局が一体となって事故をゼロにするため幅広い活動を行っています。

## ISO9001:2000認証

安全な病院作りに力をいれ、病院の総合的レベルの国際規格であるISO9001を2003年9月に病院全体で取得し、以後も継続的に改善を重ねて、安全で質の高い医療を提供しています。



## 地域医療連携部

高度医療を担う大学病院と地域医療が連携し、20分以内に患者さんの紹介や逆紹介の連絡が可能なシステムとして地域医療連携部を設置し患者さんに満足していただけるよう日々活動しています。

## 臨床教育研修センター

医師を目指して医学部の課程を終了し医師免許を取得した後、2年間の「医師臨床研修制度」があります。先輩の指導を受けながら総合的な診療経験を積む制度です。

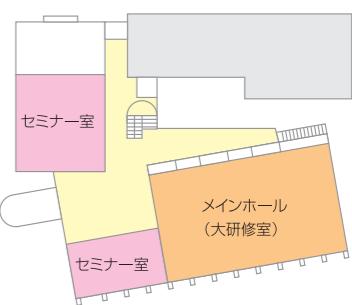
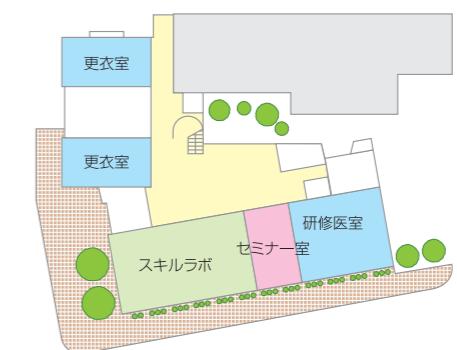
高齢化の進展などにより、医療の中心が感染症から慢性疾患へと移り一人の患者が複数の疾患を持つケースが増え、医師には多くの科にまたがった万遍な知識が必要となっています。



■臨床教育研修センター



■スキルラボ



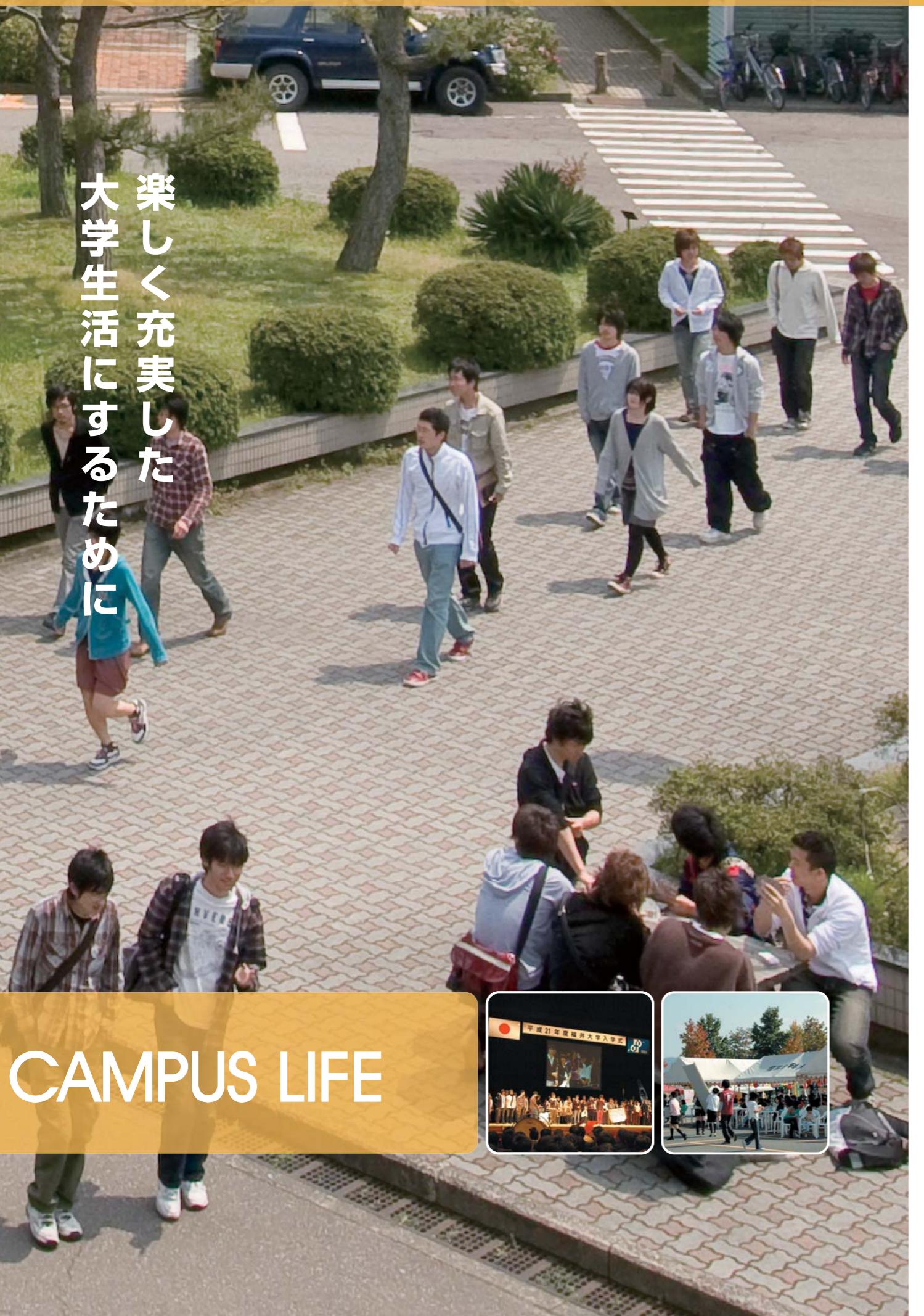
■セミナー室

■メインホール(大研修室)

この状況を受け、卒後臨床教育を受ける研修医をはじめとする医療人に対して、医療技術や知識の習得を提供する場として臨床教育研修センターがこのほど開設されました。

センターの特色として、「スキルラボ」という、コンピュータ内臓の人形(シミュレータ)が常備されている部屋があります。医学生、看護学生、研修医、新人看護師達は、そのシミュレータを利用し24時間実技練習が行えます。このスキルラボの設置は、学生や新人看護師が現場に出る前のさらなる技術向上の場として効果を発揮します。

また、研修医や看護師同士が、交流を通じ幅広い知識や技術のやり取りなど互いに切磋琢磨することで、更なる研修の充実が図られます。



## 年間イベントスケジュール

**「もう一度、やりたくなる」  
福井大学のイベントには  
不思議な魅力が満ちています**

入学式で初めて感じる「福井大学生であることの実感」。そんな思いを抱く瞬間は、そのときだけではありません。オリエンテーション、合宿研修、大学祭に各種の大会。イベントに参加するたび、ココロもカラダも少しずつ“福大色”に染まっていくはず。一つやり終えるとまたやりたくなる、不思議な魅力。さあ、卒業までの大切な時間。その魅力で、あなた自身をすてきにコーディネートしてください。

**CAMPUS CALENDAR**

- 4月**
  - 入学式
  - 新入生オリエンテーション
  - 定期健康診断（文京キャンパス）
  - 前期授業開始
  - 新入生合宿研修  
(教育地域科学部の一部、工学部全学科)
  - 留学生オリエンテーション
- 5月**
  - 大学祭（文京キャンパス）
  - 新入生合宿研修（医学部）
  - 定期健康診断（松岡キャンパス）
  - 御遺骨返還式（医学部）
  - 臨床実習開始  
(医学部医学科5年次)
  - 臨床実習（～6月）  
(医学部看護学科4年次)
- 6月**
  - 小学校、中学校教育実習（4年次）
  - 基礎実習（医学部看護学科1年次）
  - 就職ガイダンス開始
- 7月**
  - 大学説明会
  - 北陸地区国立大学体育大会
  - 西日本医学生総合体育大会（～8月）
  - 前期試験
  - 入学者選抜要項発表
- 8月**
  - 夏季休業
  - オープンキャンパス
  - 小学校、中学校教育実習（～9月）  
(3年次)
  - インターンシップ
- 9月**
  - サークルリーダーシップ  
トレーニング
  - 特別支援学校、幼稚園教育実習  
(3年・4年次)
  - 臨床実習開始（～2月）  
(医学部看護学科3年次)
  - 卒業試験（～11月末）  
(医学部医学科6年次)
- 10月**
  - 開学記念日
  - 一般選抜学生募集要項発表
  - 後期授業開始
  - 医学部講祭
  - 北陸三県大学生交歓芸術祭（～11月）
  - 一日遊学in松岡
  - 合同慰靈祭（医学部）
  - 留学生オリエンテーション
- 12月**
  - 冬季休業
- 1月**
  - 大学入試センター試験
- 2月**
  - 後期試験
  - 春季休業
  - 一般選抜個別学力検査／前期日程
  - 医師国家試験
  - 看護師・保健師・助産師国家試験
  - 学内合同企業説明会
- 3月**
  - 一般選抜個別学力検査／後期日程
  - 学位記並びに修了証書授与式

**入学式（4月）**

**文京キャンパス  
大学祭（5月）**

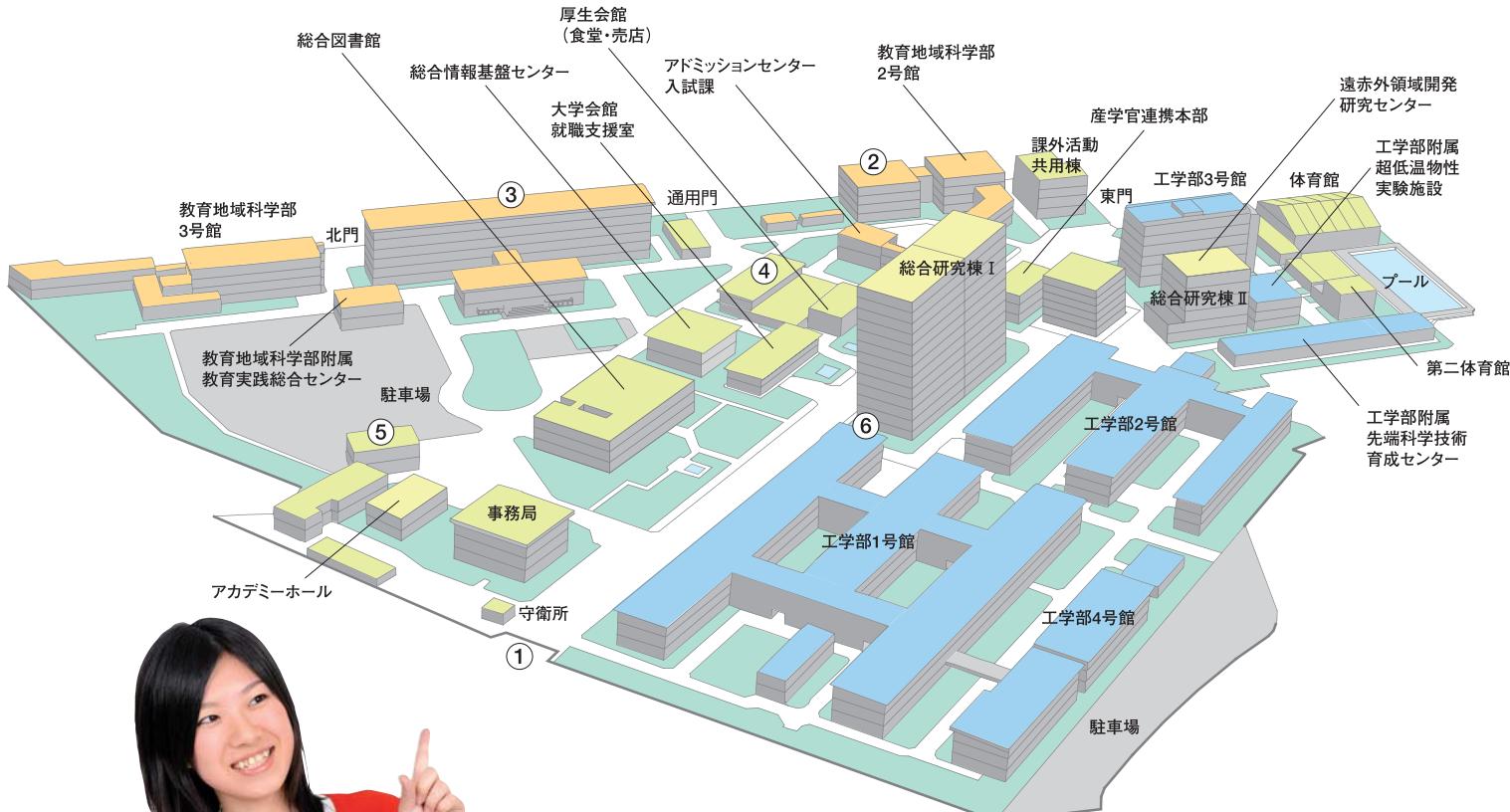
**教育実習（6月）**

**北陸地区国立  
大学体育大会（7月）**

**オープンキャンパス  
(8月)**

**キャンパスライフ**

# これが、私たちのキャンパスです。



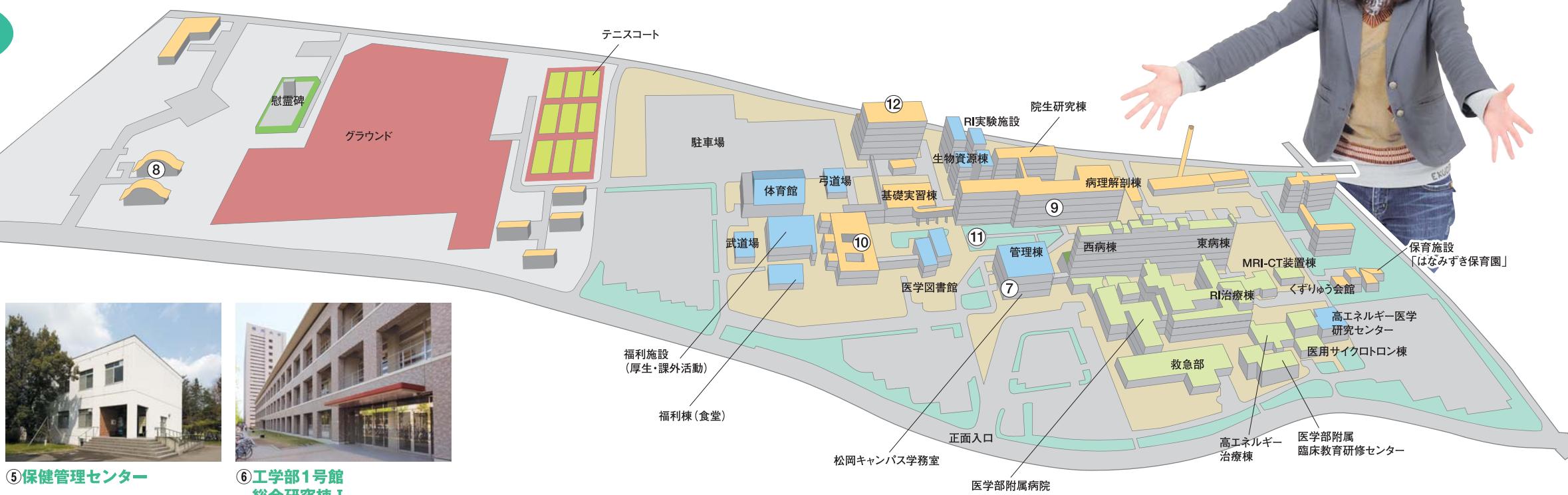
周囲にもぎやかな  
文京キャンパスです



①正門 ②共用講義棟



③教育地域科学部1号館 ④学生支援センター  
⑤保健管理センター ⑥工学部1号館  
総合研究棟 I



福井大学にはキャンパスが二つあります。一つは、教育地域科学部と工学部のある文京キャンパス。

もう一つは医学部のある松岡キャンパス。市街地と郊外、周辺環境の違いはあるものの、のびのびゆったりと研究や課外活動に熱中できる点ではまったく同じ。それではちょっと、覗いてみましょう。

キャンパスの外ですが  
こんな施設もあります



⑦保健センター



⑧国際交流会館



国際交流学生宿舎



⑨研究棟



⑩講義棟



⑪プラザ



⑫看護学科校舎

入居学生が自治会組織を作って、自  
主的な管理の下で運営しています。  
※詳細は75ページをご参照ください

学生の課外活動のほか、他大学の学  
生との交流・親睦、教職員の福利厚  
生、研修などで使用できます。使用を希  
望する団体やグループは、使用希望日  
の1ヵ月前から10日前までに、教務・  
学生サービス課（文京キャンパス）ま  
たは学務室（松岡キャンパス）に申し  
込みます。

所在地:福井県大野市南六呂師134

広々と緑豊かな  
松岡キャンパスです



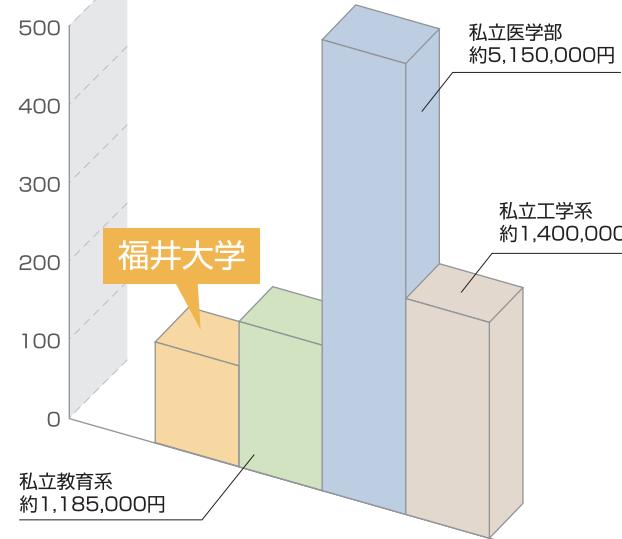




# 福大生活 How Much?

## 学費 国立大学ならではの初年度納付金の安さ

私立大学 初年度納付金の平均



文部科学省「平成20年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たり)」より作成

**初年度納付金**  
**817,800円**  
入学料 282,000円 授業料 535,800円

### 免除・猶予制度

経済的理由により入学料の納付が困難で、かつ学業優秀と認められる学生について、本学では以下の制度を設けています。免除・猶予は、学生本人の申請と審査機関での選考が必要です。

#### ■入学料免除制度

入学料の全額もしくは半額を免除します。

#### ■入学料徴収猶予制度

入学料の徴収を一定期間猶予します。免除ではありませんので納付が必須です。

#### ■授業料免除制度

授業料の全額もしくは半額を免除します。

## 奨学金 学生生活を側面支援 本学独自の奨学金も

### (1) 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金

種類および貸与月額

奨学金の種類	学種	貸与月額
第一種 無利子	大学第一種奨学生	自宅通学 4万5000円 自宅外通学 5万1000円 又は3万円の何れかを選択
	大学院第一種奨学生	修士・博士前期課程 8万8000円、又は5万円の何れかを選択 博士後期課程 12万2000円、又は8万円の何れかを選択
第二種 有利子	大学第二種奨学生	希望する額を次の中から選択 3万円・5万円・8万円・10万円・12万円
	大学院第二種奨学生	希望する額を次の中から選択 5万円・8万円・10万円・13万円・15万円

●第一種奨学金を貸与されても、修学が困難であると認められる者は、第二種奨学金を併せて貸与できます

●家計の急変など緊急に要奨金貸与の必要が生じたときは、緊急採用奨学金に出願できる制度もあります

### (2) 福井大学前田征利奨学金

前田工織株式会社(福井県坂井市)代表取締役社長・前田征利氏からの寄附金による奨学制度です。各学部・各学科からの推薦を受けた学生に対し最終年次に支給するもので、月額4万円(学部生)・7万円(大学院生)となっています。返還の義務はありません。

大学に在学する学生で、人物・学業ともに優秀かつ健康であり、経済的理由により修学が困難と認められる者に対しては、独立行政法人日本学生支援機構や都道府県・市町村等の地方公共団体、公益法人等の奨学金、育英会などの奨学制度があります。奨学金の詳細については、文京キャンパスの学生は教務・学生サービス課奨学担当(電話:0776-27-8716)に、松岡キャンパスの学生は松岡キャンパス学務室(電話:0776-61-8266)にお問い合わせください。

### (3) 福井大学生協奨学金

福井大学生活協同組合からの寄附金による奨学制度で、授業料免除を申請している者の中から選定し、10万円が支給されます。返還の義務はありません。

### (4) その他の奨学金

(1)～(3)のほかにも、地方公共団体などが扱っている育英奨学制度や、私費外国人留学生学習奨励費など外国人留学生向けの奨学金があります。募集期間は4～6月に集中しているので、詳細については文京キャンパス学生支援センターまたは、松岡キャンパスの学生掲示板をご覧ください。



経済的に自立することで  
目的意識が芽生えました

教育地域科学部 学校教育課程 春日麻奈美

福井大学を進学先に選んだのは、子どもの心のトラブルに対処する臨床教育科学を学びたいと考えていたから。でも、親に負担をかけたくなかったので、日本学生支援機構で第一種の奨学金の貸与を受けています。授業料の半額免除制度も併用していて、仕送りはほとんどいらないほどです。経済的に自立できたことが、勉強の上の目的意識をより強めることになったと思います。

Voice

## 生活費 比較的安価な家賃がふくい暮らしの魅力

遠方からの進学を考えている高校生やその保護者の方にとって、入学金や授業料以外にかかる「生活費」の存在を無視することはできません。いったい、どれくらいの金額がかかるのでしょうか。以下の表は、本学学生における1ヵ月平均の生活費を示したもので、比較的安価な居住費に、地方の大学ならではの特徴が現れているといえます。

収入	仕送り	61,830
	奨学金	23,860
	アルバイト	27,350
	<b>合計</b>	<b>113,040</b>
支出	食費	24,990
	居住費	43,410
	交通費	1,620
	教養娯楽費	7,820
	書籍費	2,830
	勉学費	1,350
	日常費	5,620
	電話代	3,960
	その他	2,340
	貯金・繰越	11,770
	<b>合計</b>	<b>105,710</b>

(実績平均・単位:円)



収入	おこづかい	12,160
	奨学金	15,600
	アルバイト	37,210
	<b>合計</b>	<b>64,970</b>
支出	食費	13,040
	居住費	0
	交通費	10,860
	教養娯楽費	6,180
	書籍費	1,600
	勉学費	950
	日常費	5,000
	電話代	2,950
	その他	2,720
	貯金・繰越	20,330
	<b>合計</b>	<b>63,630</b>

(実績平均・単位:円)

※「福井大学生協あれこれ2009」より

## 住まい 地元企業と連携した紹介サービスも実施

### ■アパート・マンション・下宿

文京キャンパスでは福井大学生活協同組合(生協)で、松岡キャンパスでは学務部松岡キャンパス学務室で取り扱っています。アパートやマンションへの入居、下宿を希望する学生のために、大学周辺のアパート・下宿のオーナーや不動産会社の協力のもと、住まいの紹介サービスを行っています。

紹介する住まいの形態は、大きく分けて次の三つです。

#### (1) アパート・マンション

ワンルーム型で、キッチン・ユニットバス・トイレが完備されているもの

#### (2) 下宿

一般的に玄関・風呂・トイレが共同で、キッチンは専用タイプと共同タイプがあります

#### (3) 食事付きの下宿

(2)の下宿に、朝と夜の食事が付いた住まいです

文京キャンパス(生協)では、先輩学生(学生アドバイザー)が一人暮らしのアドバイスもしています。

大学進学を機に一人暮らしを始める新入生に向け、本学では住まい探しの支援も行っています。県内外からの本学学生が集う「福井大学国際交流学生宿舎」も、学生の自治会組織のもので運営。キャンパス周辺に土地勘がなくとも、幅広い選択肢の中から効率よく住まいをお探しいただけます。「福井県に来るのは初めて」という方もご安心ください。

### ■福井大学国際交流学生宿舎

学生の勉学および生活のための良好な環境の整備／日本人学生と外国人留学生との相互理解などの向上を図るために施設(寮)です。宿舎生活は入居者の自治会組織のものと、入居者の自治で支えられています。

入居にかかる経費……寄宿料4700円[月額]、共益費1000円[月額]、光熱水料等約1万円[月額]、自治会費(入会費500円、会費1000円[年間])、共用施設費[シャワー100円(1回)、ランドリー100円(1回)]※設備等の詳細は教務・学生サービス課学生係(電話:0776-27-8403)にお問い合わせください



学習面はもちろんのこと  
人間的にも成長できます

教育地域科学部 学校教育課程 吉村祐美

実家からの通学が難しいことから学生宿舎を選びましたが、費用は本当に安く済みますね。寮の運営は学生による自治組織で行われ、自主性を伸ばす意味でとてもいい経験ができていると思っています。また、さまざまなイベントを通して年齢や専攻の違う人たちと交流できるので視野も広がります。勉強を先輩に指導してもらえる特典があるのは、意外に知らない寮生活ならではのメリットかも。

Voice

# 就職支援

## スケジュール

<b>4月</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリアカウンセラーによる就職相談(教・工) ※2008年度毎週水曜日開催</li> <li>キャリアカウンセラーによる企業向け模擬面接(教・工) ※2008年度毎週木曜日開催</li> </ul>
<b>5月</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福井県インターンシップ制度説明会(教・工)</li> <li>福井県教員採用試験説明会(教)</li> <li>教員採用試験対策模擬面接(教)</li> <li>東海北陸地区臨床研修病院合同セミナー(医)</li> </ul>
<b>6月</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職ガイダンススタートアップ講座(教・工)</li> <li>学内公務員講座(～翌年3月)※希望者</li> <li>進路指導懇談会(医)</li> </ul>
<b>7月</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福井県インターンシップ参加申込者の事前研修会(教・工)</li> <li>就職ガイダンス—業界・企業研究(教・工)</li> <li>教員採用試験対策論作文勉強会(教)</li> <li>臨床医のための臨床研修病院合同セミナー(医)</li> <li>卒後臨床研修説明会(医)</li> <li>医学生のための臨床研修病院合同セミナー(医)</li> </ul>
<b>8月</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員採用試験対策場面指導勉強会</li> <li>福井県臨床研修病院合同説明会(医)</li> <li>学生の就活・大学の就活支援活動リーフレットを保護者へ郵送(教・医・工)</li> </ul>
<b>9月</b>	インターンシップ
<b>10月</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職ガイダンス—インターネット活用講座(教・工)</li> <li>就職ガイダンス—エントリーシート作成講座(教・工)</li> <li>就職ガイダンスマナー講座(教・工)</li> </ul>
<b>11月</b>	産業・職業研究セミナー(教・工)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員採用試験対策講座(教)</li> <li>国家試験受験説明会(医)</li> <li>就職ガイダンス—卒業生と就職を語る会(教・工)</li> </ul>
<b>12月</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職ガイダンス—卒業生(OG)と就職を語る会(教・工)</li> <li>就職ガイダンス—面接講座(教・工)</li> <li>産学官連携本部合同企業説明会(教・工)</li> </ul>
<b>1月</b>	就職ガイダンス—就職活動体験報告会(教・工)
<b>2月</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業説明会・懇話会(教)</li> <li>学内合同企業説明会(教・工)</li> <li>教員採用試験対策模擬面接(教)</li> <li>免許申請説明会(医)</li> </ul>
<b>3月</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福井県臨床研修病院合同説明会(医)</li> <li>医学生のための北陸地区臨床研修病院合同セミナー(医)</li> </ul>

## 就職ガイダンス

就職支援の専門家や先輩方による講演会、企業トップなどを招いてのセミナーを実施。企業就職希望者だけでなく、教職希望者や公務員希望者向けのガイダンスも行っています。企業の現場の声や、先輩方の生の話を聞くことができる貴重な機会です。



## キャリア相談

経験豊かなキャリアカウンセラーや就職担当委員が、就職活動の悩みについて個別相談に応じています。

## 模擬面接

企業就職希望者には外部キャリアカウンセラーによる模擬面接を、教員希望者は学内就職担当委員による模擬面接を実施。ここで面接時のマナーや態度、発言内容に対する指導・助言を行います。



## 企業説明会

本学OB・OGが在籍する企業、および本学の学生を採用予定の企業の人事担当者を招いて開催。参加企業は福井県内だけでなく全国各地におよびます。学生が、企業情報を直接収集して希望職種・応募企業を絞り込み、就職活動の具体像を描けるようにするための支援活動です。



## インターンシップ

県内経営者協会の協力のもと、就業体験を夏休みに実施しています。企業団体の実態や地域活動への理解、職業観の確立などを実践的に身につけます。

## 就職情報

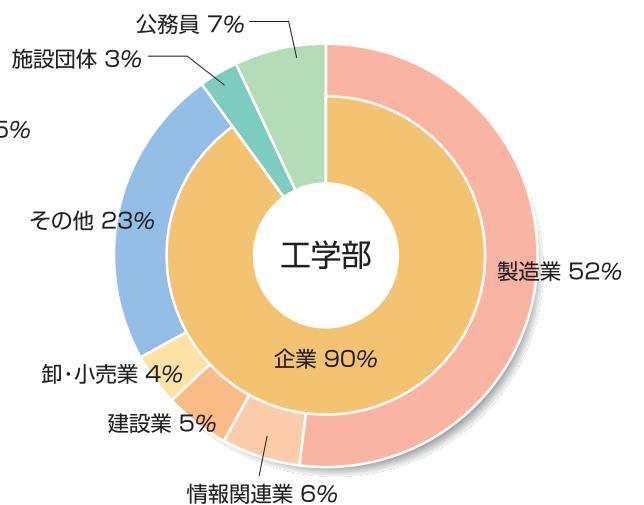
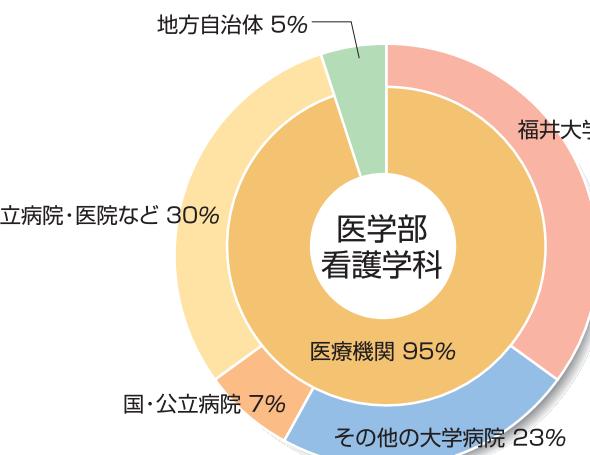
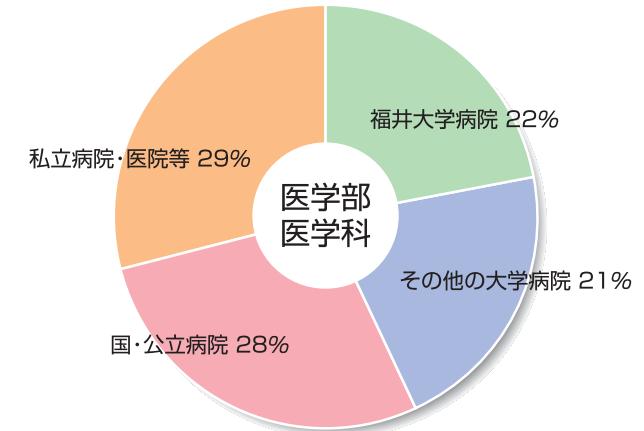
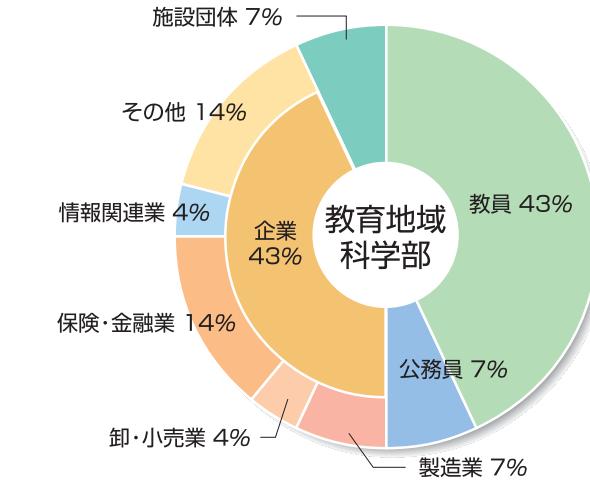
企業・団体からの求人情報や就職支援情報誌などを揃えた就職資料室で、自由に情報を入手できます。福井大学のウェブサイトには「福大求人票閲覧システム」(福井大学生専用)もあり、ウェブ上で求人情報を閲覧することも可能です。

## 試験対策

教員採用受験者向けに 教員採用試験対策セミナー／教員採用試験模擬面接／教員採用試験論作文勉強会 を実施。公務員志望者向けには、学内で公務員講座を実施しています。また、医師国家試験・看護師等国家試験対策として、進路懇談会／医学図書館の24時間利用／自習室の確保など、学生をバックアップする体制を整えています。

本学では、就職支援室と教育地域科学部・医学部・工学部の各学部が連携し、就職指導・相談などの支援を行っています。それにより先輩たちは、福井県内だけでなく、出身地へのUターンや大都市企業への就職など全国各地で活躍しています。社会と深く関わりを持つ福井大学ならではの、バラエティ豊かな就職先と就職実績。ここでは、2008年度に実施した就職支援活動と、2008年度卒業生の就職データを紹介します。

## 就職実績



## 主な就職先(順不同)

**教育地域科学部**……福井県内教員、県外公立学校教諭、幼稚園教諭、福井銀行、福井銀行、京都中央信用金庫、日本興亜損保、三津井証券、電通、ホテル日航プリンセス京都、H.I.S.、JTB中部、JR西日本、福井村田製作所、大成建設、アイシン・エィ・ダブリュ工業、三谷コンピュータ、原電事業、福井キヤノン事務機、JAたんなん、佐渡市社会福祉協議会、福井県済生会病院、福井大学、金井学園、小学校事務、福井地方裁判所、福井県庁、福井市役所、福井県警、福井県警事務

**医学部医学科**……福井大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院、神戸大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、信州大学医学部附属病院、東京大学医学部附属病院、福井県済生会病院、福井県立病院、京都第一赤十字病院、豊橋市民病院、新潟市民病院、大垣市民病院、県立広島病院国立国際医療センター、公立小浜病院

**医学部看護学科**……福井大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、金沢大学医学部附属病院、滋賀医科大学医学部附属病院、千葉大学医学部附属病院、福井県済生会病院、福井赤十字病院、福井県立病院、大垣市民病院、名古屋第一赤十字病院、静岡県庁、豊川市保健センター、福井市消防局

**工学部**……セーレン、アイシン・エィ・ダブリュ、サカイオーベックス、福井村田製作所、小松製作所、大日本印刷、ダイハツ工業、豊田自動織機、大林組、西日本鉄道、INAX、JR東海、JR西日本、中部電力、日本ガイシ、名古屋製陶、小野薬品工業、福井銀行、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、(財)日本ガス機器検査協会、教員、宮内庁、名古屋国税局、中部運輸局、福井県庁、滋賀県庁、鯖江市役所、坂井市役所、福井市消防局、加賀市消防本部、福井県警

## 主な進学先(順不同)

福井大学大学院(進学者の約89%)、大阪大学大学院、名古屋大学大学院、筑波大学大学院、金沢美術工芸大学大学院、京都工芸織維大学大学院、東京学芸大学大学院、鳴門教育大学大学院、奈良先端大学院大学、東北大学大学院、東京工業大学大学院、岐阜大学大学院、神戸大学大学院

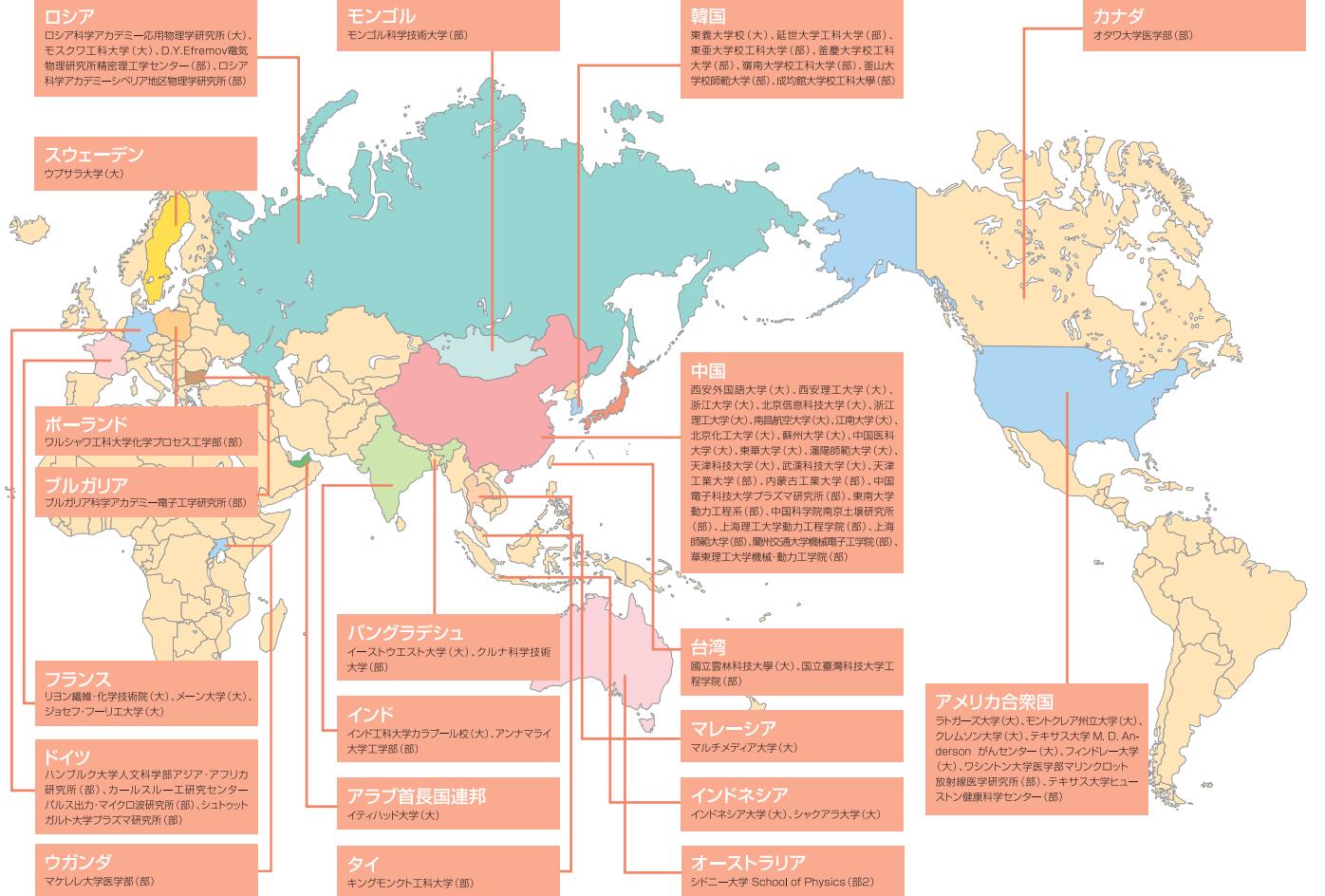
# 国際交流

国際社会に貢献できる人材の育成をめざして。

充実したバックアップのもと、欧米・アジアなど各国における異文化体験をしっかりとサポート。また、本学では約240人(2008年現在)の留学生を受け入れ、キャンパス内の異文化交流も盛んに行われています。そうした留学活動をサポートす

る『留学生センター』も設置、多くの学生諸君が海外で学んだり研究したりできるよう支援にあたっています。

## 交流協定校



※国別状況……計66校【(大):大学間交流協定 33校、(部):部局間交流協定 33校】(2009年5月現在)

**留学**

母国の情報インフラの発展に貢献するために

工学部 情報・メディア工学科 アドリアン・ラブナ

福井県の落ち着いた環境と、充実した設備のこの大学で学びはじめて3年がたちました。母国ではできない最先端の研究に打ち込む毎日です。心配もあった留学生活ですが、日本の方はもちろんなさまざまな国の留学生と交流ができ、本当に充実しています。インドネシアの情報インフラはまだまだ遅れています。母国の進歩に貢献するためにも、卒業後は大学院へと進学して、より研究を深めていきたいですね。

**留学**

日本とインドの伝統と文化の架け橋になりたい

工学研究科 建築建設工学専攻 飯塙真弓

大学で学ぶうちに、アジアの伝統建築に強く引かれるようになりました。そこでインド南部のアンナマライ大学に1年間留学し、現地の建築物の調査をしました。本来の専攻よりも社会学的のアプローチを必要とする研究でしたが、先生をはじめとする大学の皆さんのおかげで、実りの多い日々を送ることができたと思っています。いつかまた渡航して、両国の文化交流に携わることが目標です。

# 入試制度

学生募集の概要は、本学ウェブサイトの「入試情報」をご覧ください。  
各種案内や学生募集要項等の「資料請求・閲覧」もできます。

## 一般入試(前期日程・後期日程)

大学入試センター試験、個別学力検査及び調査書等の結果を総合して選抜します。詳細は、10月に発表予定の一般入試学生募集要項でご確認ください。なお、工学部・前期日程では、本学以外に名古屋市でも個別学力検査会場を設置しています。

## 特別入試

より多様な学生を募集するため、一部の募集単位で、いくつかの特別入試も行います。

### ●推薦入試

出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し、面接、小論文、実技及び調査書等の結果を総合して選抜します。大学入試センター試験を課さない選抜(推薦I)と課す選抜(推薦II)があります。詳細は、9月に発表予定の推薦入試学生募集要項でご確認ください。なお、医学部医学科では、地域枠(福井県)や福井健康推進枠による募集も行います。

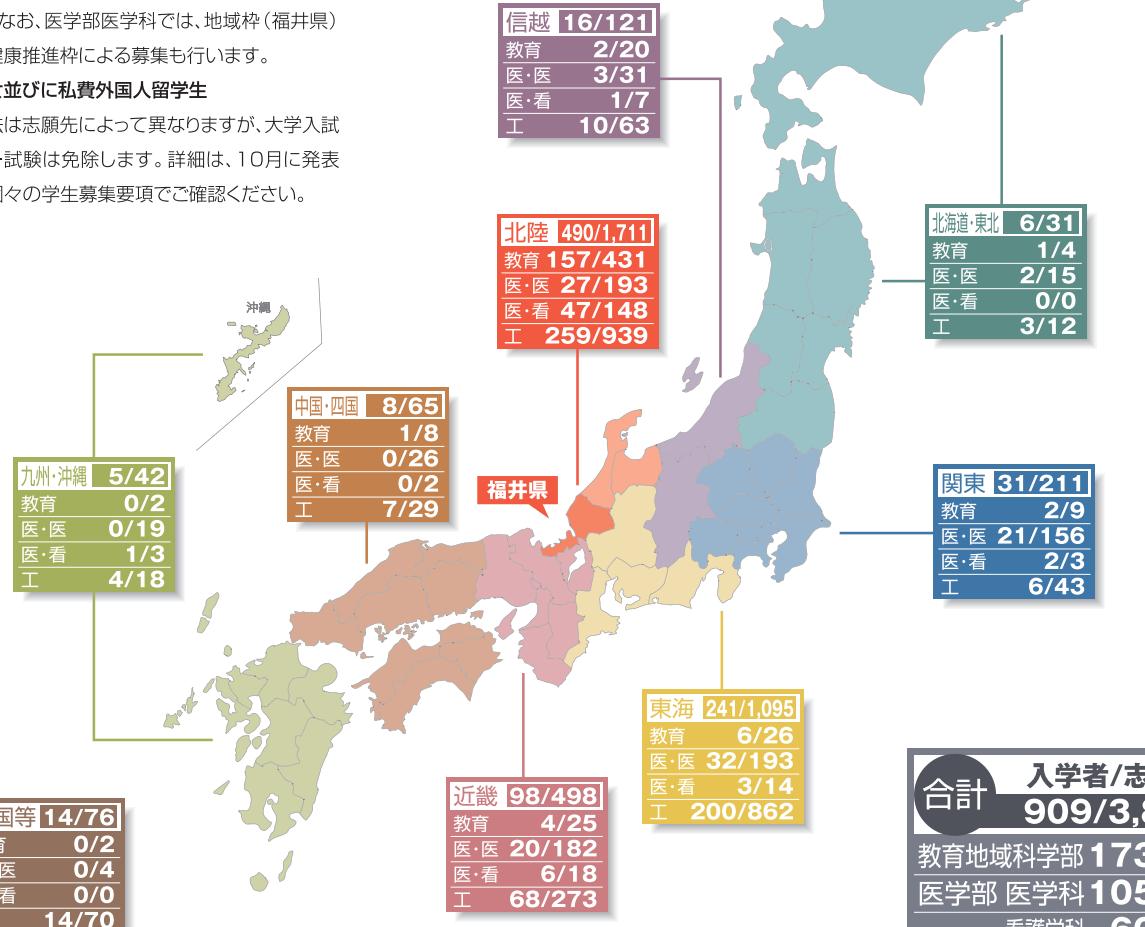
### ●帰国子女並びに私費外国人留学生

選抜方法は志願先によって異なりますが、大学入試センター試験は免除します。詳細は、10月に発表予定の個々の学生募集要項でご確認ください。

## AO(アドミッション・オフィス)入試

本学での専門分野の探求に強い意欲を持つ志願者を対象に、能力、意欲、目的意識等を総合的に評価して選抜します。具体的には、詳細な書類審査と時間をかけた丁寧な面接や口述試験、実技や小論文、模擬講義とその小テスト、プレゼンテーションやグループ討論等の例があります。大学入試センター試験を課さない選抜(AO I)と課す選抜(AO II)があり、専門分野によっては、出身学科で募集人員を分ける場合もあります。詳細は、6月に発表予定のAO入試学生募集要

項でご確認ください。  
☆これらの各種選抜の概要、総合的な案内は、7月に「入学者選抜要項」で発表します。  
★学部1年次入学者以外に、医学部看護学科と工学部の3年次編入学者、医学部医学科2年次後期の学士編入学者、大学院の修士・博士前期課程及び博士・博士後期課程並びに教職大学院の入学者も募集します。詳細は、個々の学生募集要項でご確認ください。



福井大学入学者・志願者／出身地区・学部別(2009年度)

2010年度の募集人数に関しては福井大学ウェブサイト「入試情報」をご覧ください。http://www.u-fukui.ac.jp/

# で、福井ってこんなところ。



## レッサーに胸キュン♥

### 西山動物園のレッサー・パンダ

西山動物園として1986年に開園し、早23年。四川ルッサー・パンダの繁殖率が日本の3本の指に入るここ西山動物園では、子どもだけでなく大人も来てほしいとの願いをこめて、老若男女誰でも参加できるレッサー・パンダの観察会等、多くの活動が行われています。レッサー・パンダの人工保育が日本で初めて成功したのもここ西山動物園から。つぶらな瞳と愛らしい動きに、あなたも胸キュン♥してみない?

[問い合わせ]

鯖江市西山動物園 ☎0778-52-2737

URL:<http://www.city.sabae.fukui.jp/users/zoo/doubutu.html/>



## 福井鉄道

### 車のない学生の強い味方!

全国でも珍しい、郊外から市街地へ直通で乗り入れる路面電車です。全長21km、福井市と越前市を結び市民の足として活躍しています。近くまでの買い物も、遠出もこれで行けちゃいます。田原町駅は文京キャンパスのすぐ近く。この電車があれば、車がなくても大丈夫。

[お問い合わせ]

福井鉄道株式会社 ☎0778-21-0706



## あふれる熱気!フェニックス祭り!!

光る汗、あふれる熱気!!地響きのように沸き起こる歓声は、現の世界を忘れてしまうほど。戦災や福井大震災の復興の祝福と福井市の発展を願い開催された「ふくいまつり」が起源のこの祭。YOSAKOI(よさこい)やマーチングバンド、そして花火などテスト明けに友達と一緒に行きたいイベントが盛りだくさんです。

[問い合わせ]

福井市役所 商工労働部 マーケット戦略室 ☎0776-20-5325



## 金津創作の森

### 芸術の面白さに目覚めるスポット

「若者の興味をひく施設のない金津に文化施設を」ということで、1999年にグランドオープンしたのがこの金津創作の森。企画展やイベントが頻繁に行われ、訪れるだけで芸術に興味をわかせてくれるような施設です。催しが魅力的だけでなく、建物自体もカッコいいので、どちらも必見。ガラスや陶芸の工房もあり、体験もできます。

[お問い合わせ]

金津創作の森 ☎0776-73-7800

とっても  
おいしいよ!



## ソースに技あり!ソースカツ丼

甘みの深い、薄味のソースと、サラサラのパン粉に包まれたカツ。サクッとした食感を持つ、このカツは、ドイツ風の味つけと、食べやすさを追求したカツの厚さから生まれます。カツとソース、そして福井産のお米から生まれるこのソースカツ丼は、ここ福井でしか食べられない他県に誇れる一品です。

[問い合わせ] ヨーロッパ軒総本店 ☎0776-21-4681

URL:<http://homepage2.nifty.com/yo-roppaken/>

先輩たちが暮らす福井県、そこにはどんな名所・名物があるのでしょう?

福井大学への進学を考える人たちには、ちょっと気になることかもしれません。そんな思いに応えるのが『で、福井ってこんなところ。』「学生に役立つ情報を!」と、学生が県内各地で取材を実施。こんなページを作りました。

## 古きを温め新しきを知る…

### 福井の誇る越前和紙

福井の伝統工芸の1つ、越前和紙。

奈良時代、写経に用いられた紙も明治維新で新たに開発された紙幣も越前和紙やその技法がおおいに用いられているのです。

和紙の表面に漆を塗って三次元表現を可能にした「漆和紙(うるわし)」(写真)もその1つ。フランスのデザイナーと越前産地の共同作品です。

伝統を守り、伝統を超える。

越前和紙の歴史はこれからも続きます。

[問い合わせ]

(株)杉原商店 ☎0778-42-0032 URL:<http://www.washiya.com/>



## 敦賀ラーメン

赤提灯と湯気に誘われて……

敦賀市の夜の名物、ラーメン屋台。夜になると、どこからともなく赤提灯を下げた屋台が通りに集まっています。鶏ガラと豚骨を合わせたスープに醤油味。その香りに誘われて、つい立ち寄ってしまいます。誕生から約50年間、敦賀の食文化を支えてきた敦賀ラーメン。ぜひご賞味あれ。



## 地元の情報源

### ふくいの発見、おでつだい

福井県には、県内のいろいろなモノやコトを紹介する情報誌、フリーペーパーが数多くあります。「福井に住むのはいいけれど、福井のことはまったくわからないよ」という方も、これを読めば福井はあなたの庭同然!?

情報誌は書店やコンビニで。フリーペーパーは飲食店や雑貨屋などに設置してあります。

こんな  
知らなかつた!



## 福井に住むなら欠かせない! 超メジャー級福井弁の講座

### 福井弁

### 意味

### 用例

友達の家で。

つるつるいっぱい	液体を器いっぱいになみなみ注いだ状態	お茶つるつるいっぱいついでー。
……しね	……しなさい	はよ(早く)しねま。
……しつんた	……してしまった	あっ、こぼしつんた! ティッシュ取って
なげる	捨てる	このティッシュなげて。
じゃみじゃみ	テレビ画面が乱れた状態	あれ? 画面がじゃみじゃみになった。
ひって	すごい(く)	なに~、このひっておぞいテレビ~。
おぞい	古い・粗末な	なあ、彼女えんの?
えん	いない・ない	ほやって。えんのやって。
ほや	そうだ	なら、今度ドライブしよう!
……しょっさ……しょっせ	……しましょう	

## 福井の「うまい！」—海の幸編



## 新鮮! 日本海の恵み

日本海に面した福井県は、海産物の宝庫。冬の味覚の王者「越前がに」をはじめ、甘えびやふぐ、若狭がれい、若狭ぐじなど、1年を通して新鮮な海の幸を楽しむことができます。荒々しい波にもまれ、ギュッと締まった魚介類はまさに絶品! 福井県では、食を通して四季の移ろいを感じることができます。

## 東尋坊



## 迫力満点の断崖絶壁

日本海の荒波がつくりだした豪快な海食景観が、約1kmに渡って続く国の天然記念物。輝石安山岩の柱状節理は地質学的に珍しい存在。世界を見渡しても、東尋坊を含め数か所しかありません。水面25m(ビルの8~9階に相当)の高さから見下ろす景色は、まさに圧巻の一言に尽きます。

## 福井県立恐竜博物館



## 見る、知る、楽しむ博物館

2000年開館、世界でも有数の恐竜博物館。特別展やイベントなどを通じて、恐竜のことを詳しく知ることができます。親子で楽しめたり、コンピュータを使ったりするイベントも開催。実物大の恐竜の骨格は必見です。入口から展示室へ潜っていくような、建物のつくりにも注目してください。

[問い合わせ] 福井県立恐竜博物館 ☎0779-88-0001

## 福井の「うまい！」—山の幸編



## からだに優しい「そば」

山の幸というより里の幸? の「そば」。福井県では、そばづゆに大根おろしを溶かす「おろしそば」が主流。1601年に発祥し、現在も福井の人々に愛されています。大根には肝臓に良い成分と血行を促す成分、そばにはアルコールを吸収しやすくする成分が。飲んだらそばで締めるのが、福井流です。

[問い合わせ] 福井県麺類業生活衛生同業組合 ☎0776-21-3142

## 足羽川堤防



## 街の名物“桜のトンネル”

福井市を流れる足羽川の堤防は、600本の桜が約2.2kmにわたって並ぶ「日本さくら名所100選」の一つ。満開の時期には花が隙間のないほど咲き誇り、堤防の両側はまるで桜のトンネル。ぜひ、トンネルの下を歩いてみてください。近くの足羽山にある、足羽神社のしだれ桜も見ものですよ。

## 丸岡城



## 一筆啓上の町のシンボル

「一筆啓上賞」「新一筆啓上賞」の坂井市丸岡町に建つ、柴田勝豊が1576年に築城した城。現存するものでは最古の天守閣と石垣が残る国指定の重要文化財です。城郭一帯には数百本のソメイヨシノが植えられ「日本さくら名所100選」にも認定。桜のシーズン中は「古城まつり」も開かれます。

[問い合わせ] 坂井市丸岡観光協会 ☎0776-66-0303

## 伝統工芸品



## 職人が伝える700年の技

伝統工芸品の中から「越前打刃物」を紹介。産地の越前市は、全国有数の打刃物産地。室町時代に京都の刀匠がこの地へ来住し、農民のため鎌を作ったのが始まりといわれています。700年経った今も、多くの刃物が職人の手から生み出されています。

[問い合わせ] 越前打刃物産地協同組合連合会

☎0778-24-1200

## 三国花火大会



## 北陸最大級! 音と光の幻想空間

毎年8月11日、三国サンセットビーチ(坂井市)を舞台に、絢爛豪華に繰り広げられるまつり。それが「三国花火大会」です。総合計7000発の打ち上げ花火をはじめ、仕掛け花火、スターマイク、ナイagaraなどが真夏の夜空を美しく染めます。中でも、水中花火はいまや北陸の名物的存在になりました。

## 水晶浜



## きれいな海で思い出作り

水晶のように輝く白い砂浜! 「日本の水浴場88選」にも入っている、海・海岸とともに質の高い海水浴場です。駐車場や交通が整備されていて日帰りもOK。きれいな海水浴場を維持するために、地区的清掃活動や持ち帰り運動などが行われています。夏の思い出を水晶浜で作ってみませんか?

[問い合わせ] 美浜町観光協会 ☎0770-32-0222

## 私たちが作りました!

「で、福井ってこんなところ。」を編集したのは、「学生ベンチャー研究室 ボランチ」。その監修(一部を取材・編集)をしたのは「学生広報スタッフ」です。「ボランチ」では、他大学の学生と一緒に、福井の学生のためのフリーペーパー『are』を制作しています。学内や福井駅前の店舗、大学近辺の飲食店などで手に入れます。

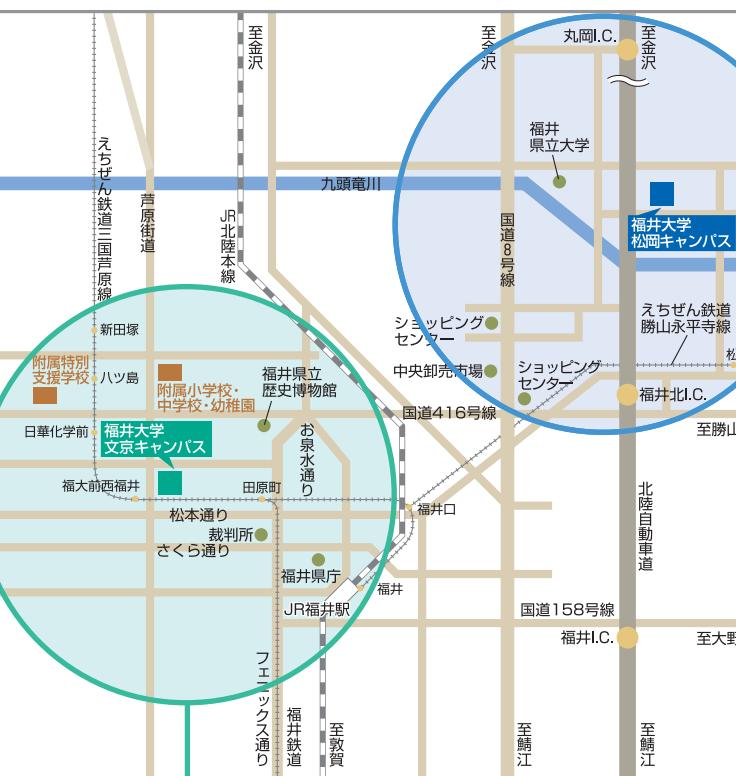
『学生広報スタッフ』は、教員紹介・サークル紹介などの取材、web制作、大学案内のモデルなどとして活動しています。今回、「福井大学 部・サークル全カタログ!」でも、文京キャンパスの部・サークルを取りました。

「学生ベンチャー研究室 ボランチ」ウェブサイト…www.volente.bz

「福井大学 学生広報」ウェブサイト…www.u-fukui.ac.jp/gakusei\_koho (本学HPのトップページのバナーをクリック)



## アクセスマップ

文京キャンパス  
(教育地域科学部・工学部)

## バス

JR福井駅→(約10分)→福井大学前停留所  
[JR福井駅西口から出て市内バス乗り場10番より乗車]

## 鉄道

えちぜん鉄道福井駅→(約10分)→福大前西福井駅  
[JR福井駅東口から出て三国芦原線に乗車]  
※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません

## タクシー

JR福井駅→(約10分)→福井大学文京キャンパス  
[必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]

## 自家用車

北陸自動車道 福井北IC.から国道416号線で西へ約7km または福井IC.から国道158号線で西へ約8km

学部によって  
キャンパスが違うから  
気を付けて

松岡キャンパス  
(医学部)

## バス

JR福井駅→(約35分)→福井大学病院  
[JR福井駅西口から出て市内バス乗り場11番より乗車]

## 鉄道

えちぜん鉄道福井駅→(約20分)→松岡駅→(バス・約5分)→福井大学病院  
※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません

## タクシー

JR福井駅→(約30分)→福井大学松岡キャンパス  
[必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]

## 自家用車

北陸自動車道 福井北IC.から北へ約4km、または丸岡I.C.から南へ約5km  
※標識やバス停の一部に見られる「福井医大」「福井大学病院」も福井大学医学部を指します